

**「名寄市総合計画(第3次)」策定に向けた  
地域幸福度(Well-Being)  
アンケート報告書**

**令和8年1月  
名寄市**

# 目 次

I 調査の概要.....	1
1. 調査の概要 .....	1
2. 調査票の回収結果 .....	1
3. 集計結果の表し方 .....	1
II アンケート集計結果.....	2
1. 回答者の属性 .....	2
(1)性別 .....	2
(2)年齢.....	2
(3)居住地区 .....	3
(4)通算居住年数.....	3
(5)配偶者の有無.....	4
(6)世帯構成 .....	4
(7)同居しているお子さんの有無 .....	4
(8)世帯収入 .....	5
(9)最終学歴 .....	5
2. 総合指標(幸福度・満足度) .....	6
(1)全体評価.....	6
(2)属性別の評価.....	11
3. カテゴリー(因子)別の評価.....	16
(1)主観データと客観データの比較.....	16
(2)年齢階級別主観データ .....	18
(3)主観データの詳細 .....	20
(4)独自設問 .....	22
4. 幸福度・満足度と因子との相関 .....	23
(1)現在の幸福度 .....	23
(2)5年後の幸福度 .....	24
(3)生活満足度 .....	25
(4)近所の幸福度.....	26
(5)自分とまわりの楽しさ .....	27
III 参考資料 .....	28
1. 主観データの設問(令和7年度版) .....	28
(1)幸福度・満足度.....	28
(2)生活環境(16 因子、27 問) .....	28
(3)地域の間関係(2因子、10 問) .....	29
(4)自分らしい生き方(7因子、11 問) .....	29
2. 客観データのカタログ .....	31

# I 調査の概要

## 1. 調査の概要

本調査は「名寄市総合計画(第3次)」を策定するために必要な基礎資料の収集を目的として、地域幸福度(Well-Being)アンケート調査を実施しました。

調査対象	名寄市に在住する全市民(約24,200人)
調査期間	令和7年11月
調査方法	広報別冊(URL/二次元バーコード掲載)の配布(12,156世帯及び公共施設等)／Webによる回答

## 2. 調査票の回収結果

年齢	回答数(人)	割合(%)
全 体	405	100.0
20歳未満	14	3.5
20代	29	7.2
30代	58	14.3
40代	88	21.7
50代	102	25.2
60代	64	15.8
70代	44	10.9
80代	6	1.5
90歳以上	0	0.0

## 3. 集計結果の表し方

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。
- 百分率による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を100%として算出し、本文及び図の数字に関しては、すべて小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 偏差値による集計結果は、デジタル庁の「地域幸福度(Well-Being)指標」サイトで算出された値(令和7年12月20日現在)を用いています。(人口10万人以上かつ回答数100以上の自治体の平均値を偏差値50として計算)
- 比較対象としている北海道のデータは、回答者数2,578人のうち札幌市が1,073人(41.6%)を占め、残り58.4%も旭川市や函館市など総人口が多い14市を対象としています。
- 2つのデータの間の「関係性の強さ」を分析するため、相関係数の算出を行っています。当報告書では、相関係数値が0.7以上を「非常に強い相関」、0.4～0.7を「強い相関」、0.4未満を「弱い相関」と表現することとします。

## II アンケート集計結果

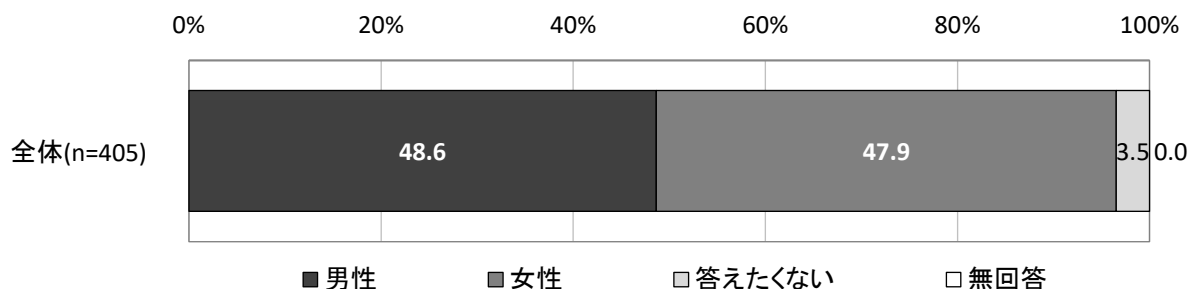
### 1. 回答者の属性

#### (1)性別

回答者の性別は、「男性」が48.6%、「女性」が47.9%、「答えたくない」が3.5%となっています。

問1 あなたの性別をお答えください。

(1つに○印)

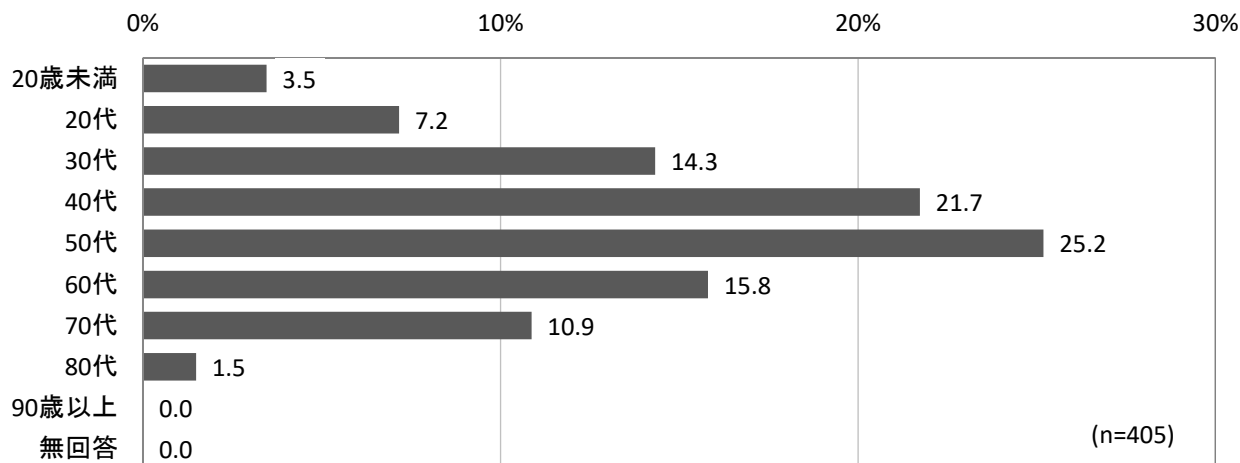


#### (2)年齢

回答者の年齢は「50代」が25.2%で最も多く、次いで「40代」(21.7%)、「60代」(15.8%)、「30代」(14.3%)が続いています。

問2 あなたの年齢をお答えください。

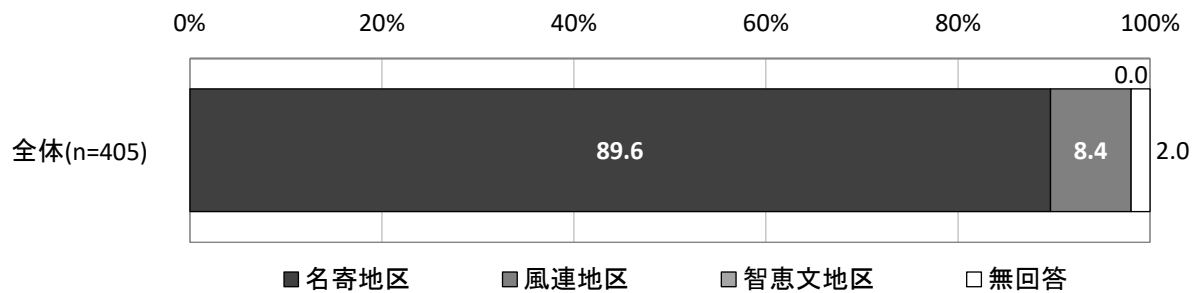
(1つに○印)



### (3)居住地区

回答者の居住地区を郵便番号から判定すると、「名寄地区」が89.6%を占め、「風連地区」は8.4%となり、「智恵文地区」と判定された郵便番号はありませんでした。

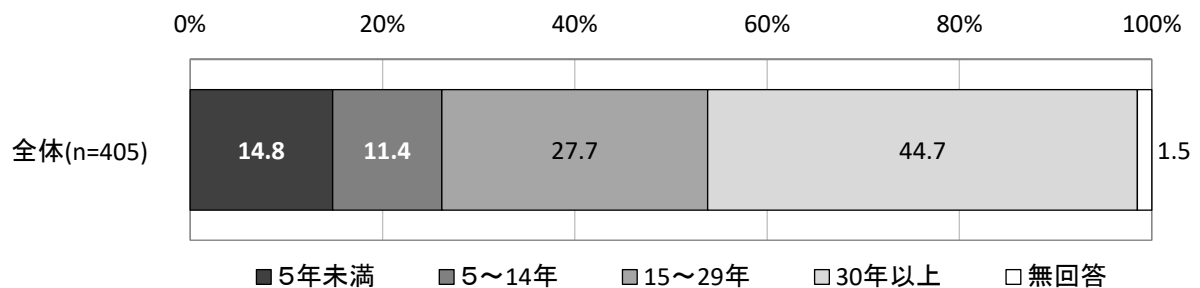
問3 あなたのご住所の「郵便番号」をお答えください。



### (4)通算居住年数

回答者の居住年数は「30年以上」が44.7%で最も多く、次いで「15～29年」(27.7%)、「5～14年」(11.4%)、「5年未満」(14.8%)の順で続いています。

問4 あなたの名寄市での通算居住年数をお答えください。(1つに○印)

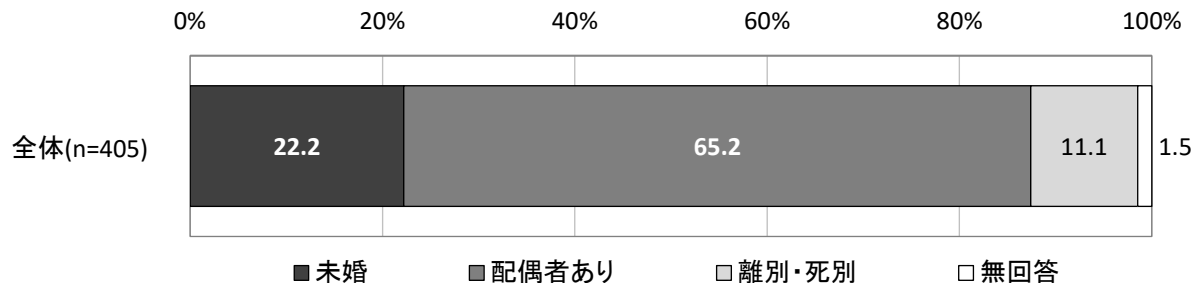


## (5)配偶者の有無

回答者の配偶者の有無は、「未婚」が22.2%、「配偶者あり」が65.2%、「離別・死別」が11.1%となっています。

問5 配偶者の有無をお答えください。

(1つに○印)

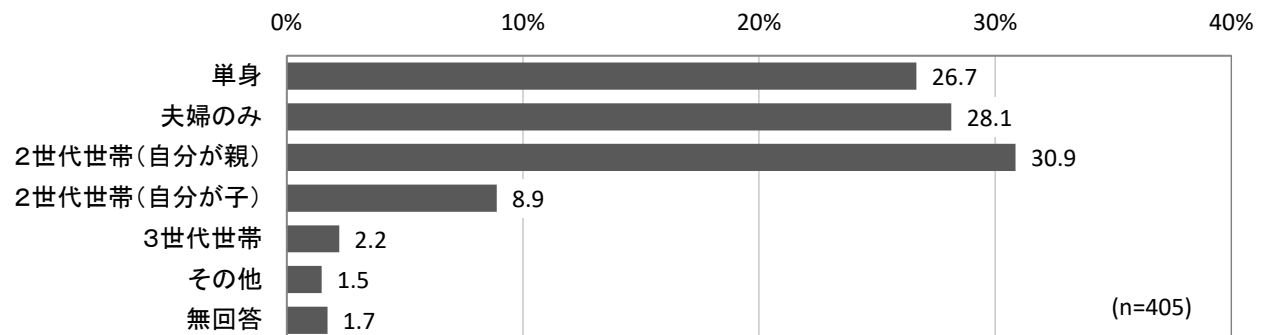


## (6)世帯構成

回答者の世帯構成は、「単身」(26.7%)、「夫婦のみ」(28.1%)、「2世代世帯(自分が親)」(30.9%)が上位回答となっています。

問6 あなたの世帯の構成をお答えください。

(1つに○印)

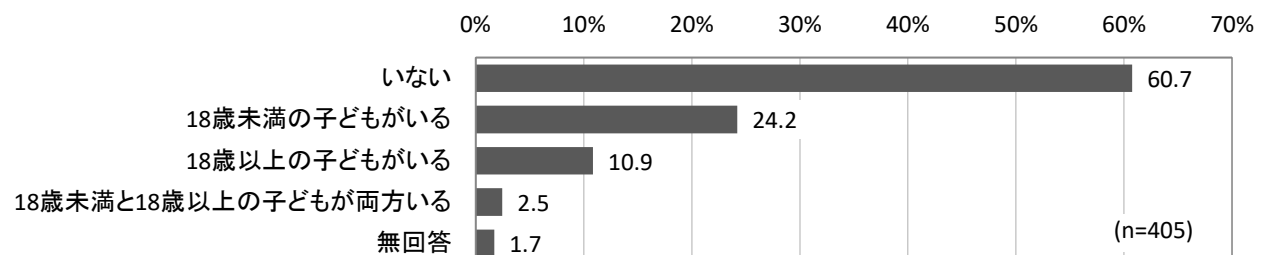


## (7)同居しているお子さんの有無

回答者に同居しているお子さんがいるかどうかは、「いない」が60.7%を占め、次いで「18歳未満の子どもがいる」(24.2%)、「¥18歳以上の子どもがいる」(10.9%)が続いています。

問7 あなたは同居しているお子さんはいらっしゃいますか。

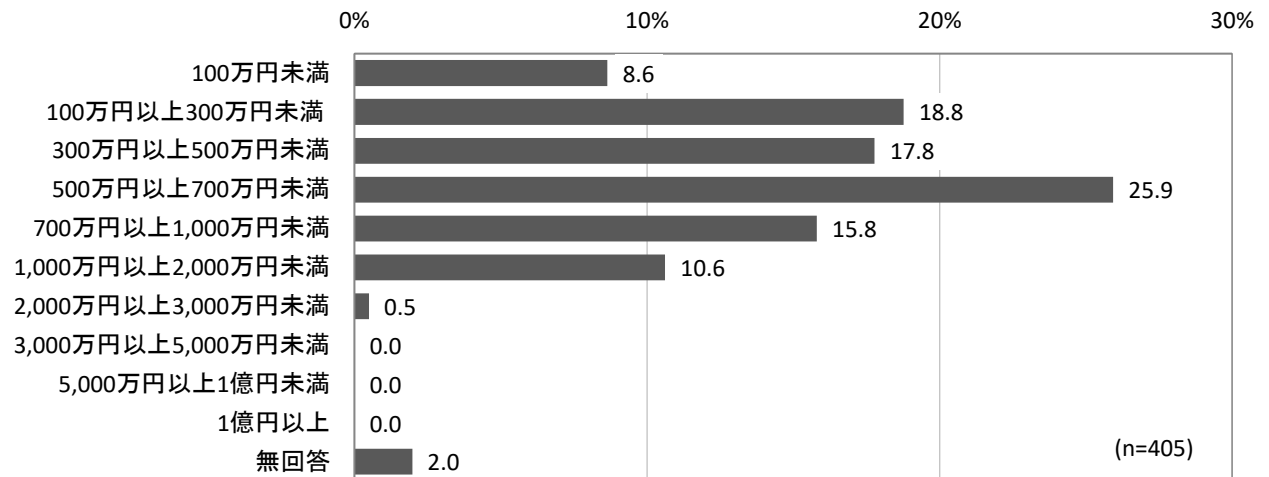
(1つに○印)



## (8)世帯収入

回答者の世帯収入は、「500万円以上700万円未満」が25.9%で最も多く、次いで「100万円以上300万円未満」(18.8%)、「300万円以上500万円未満」(17.8%)が続いています。

問8 あなたの世帯全体の年間収入(税・社会保険料を含む)はおよそどのくらいですか。(1つに○印)



## (9)最終学歴

回答者の最終学歴は、「高等学校」が40.5%で最も多く、次いで「大学」(24.7%)、「高専、短大」(12.8%)が続いています。

問9 あなたの最終学歴を教えてください。(1つに○印)



## 2. 総合指標(幸福度・満足度)

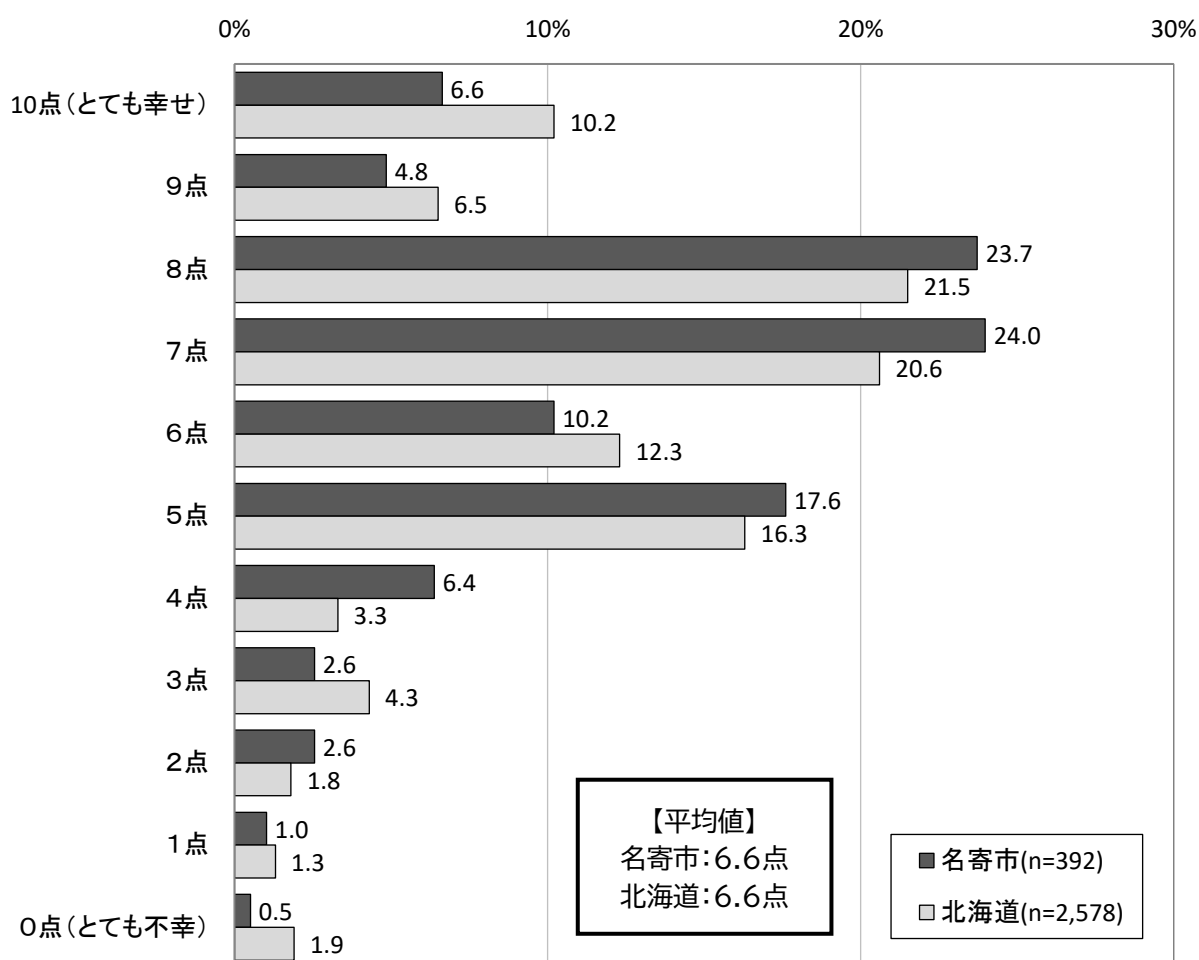
### (1) 全体評価

#### ① 現在の幸福度

本市における現在の幸福度は、「8点」(23.7%)、「7点」(24.0%)、「5点」(17.6%)の割合が高く、平均値は6.6点となっています。

北海道の集計結果と比較すると、幸福度の平均値には差異がありませんが、点数ごとの回答割合は、本市は「10点」が3.6ポイント低く、「7点」が3.4ポイント高くなっています。

問10 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(1つに○印)



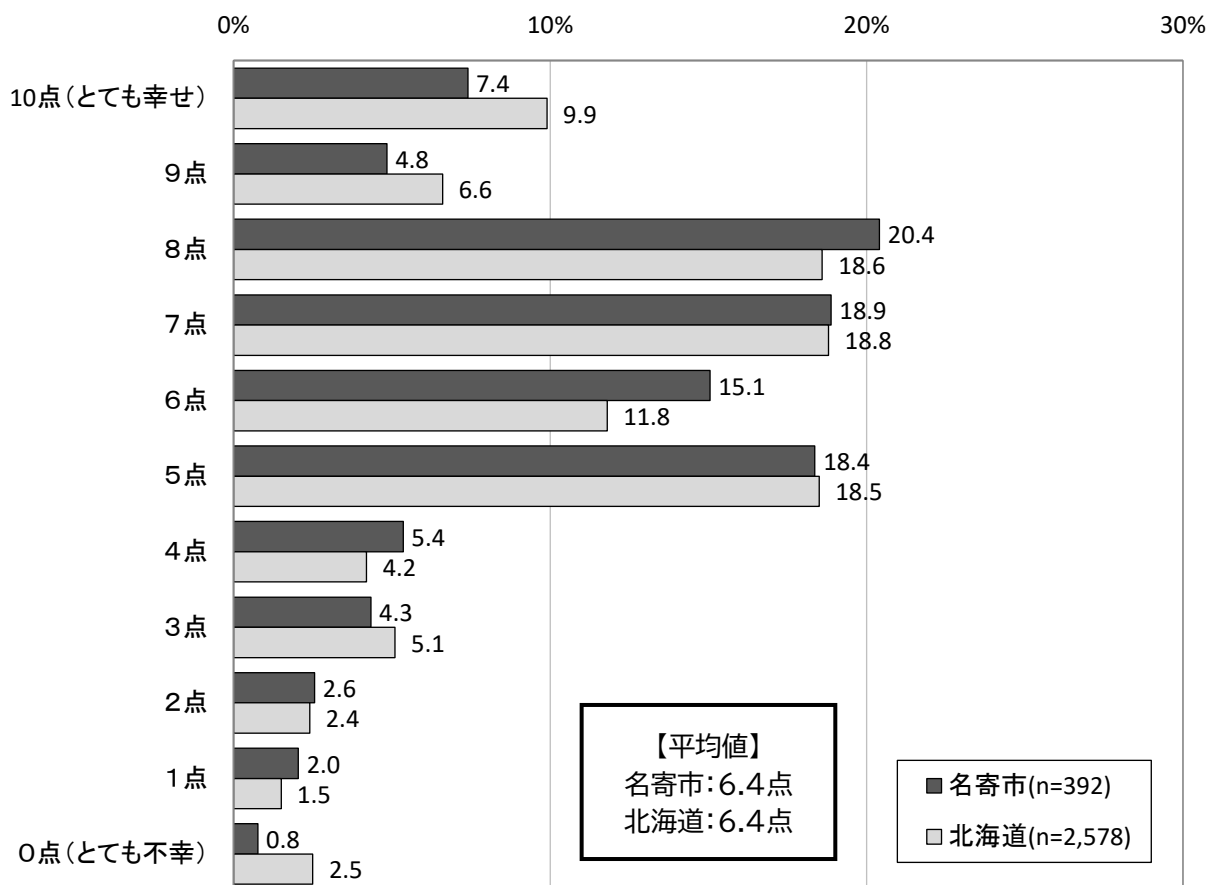


## ②5年後の幸福度

本市における5年後の幸福度は、「8点」(20.4%)、「7点」(18.9%)、「5点」(18.4%)の割合が高く、平均値は6.4点となっています。

北海道の集計結果と比較すると、5年後の幸福度の平均値には差異がなく、点数ごとの回答の傾向にも大きな差異はみられない状況です。

問11 5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(1つに○印)



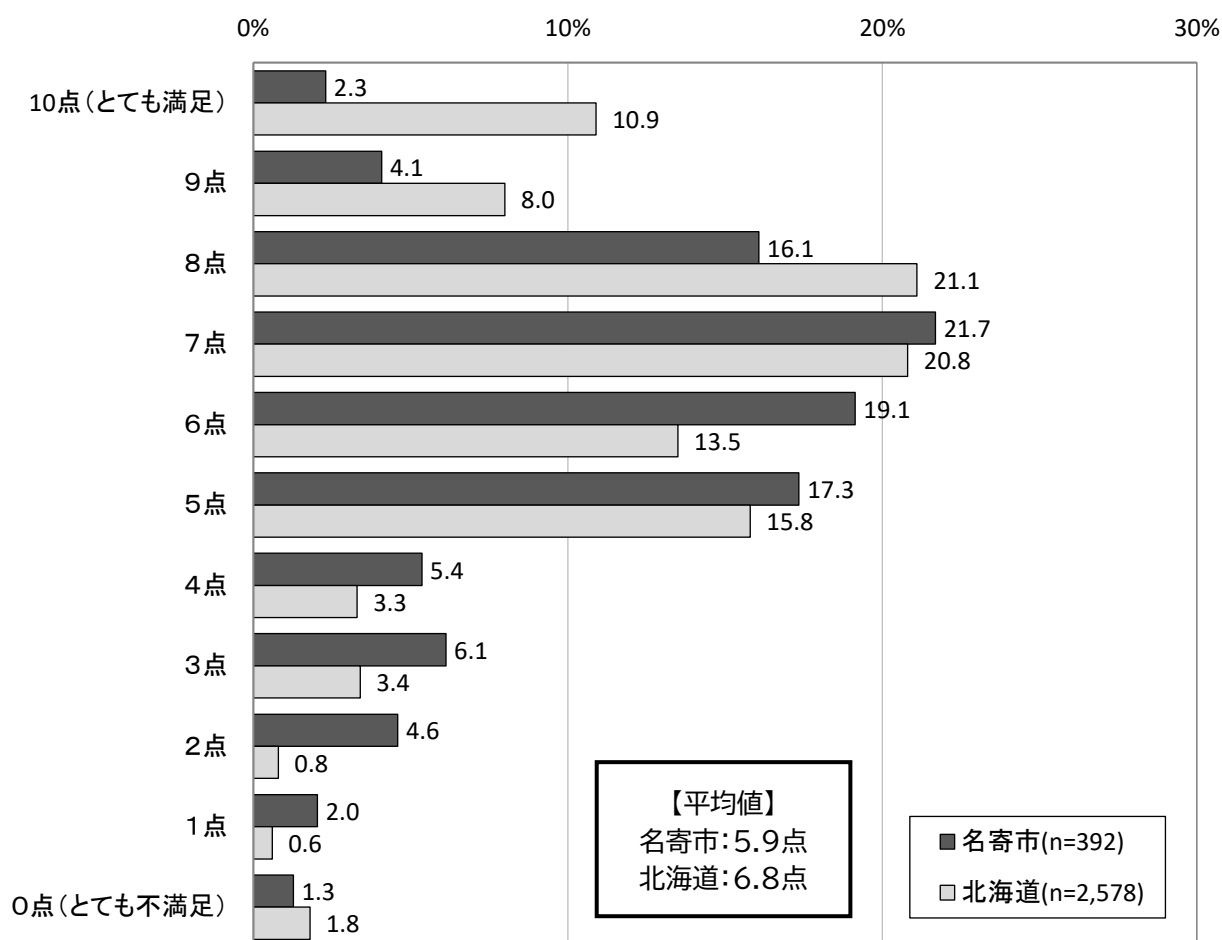
### ③生活満足度

本市における生活満足度は、「7点」(21.7%)、「6点」(19.1%)、「5点」(17.3%)、「8点」(16.1%)の順で割合が高く、平均値は5.9点となっています。

北海道の集計結果と比較すると、本市の平均値は北海道の6.8点を0.9点下回っているほか、「10点(とても満足)」が8.6ポイント下回っている状況です。

北海道の集計結果は札幌市をはじめとする道内で総人口が多い15市の集計結果となっていることから、生活環境における都市機能の差異が結果に表れていると考えられます。

問12 現在、名寄市の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(1つに○印)



#### ④近所の幸福度

本市における町内会など近所の幸福度は、「5点」が32.5%で突出しているほか、「6点」(18.9%)、「7点」(17.4%)が上位回答となっており、平均値は5.5点となっています。

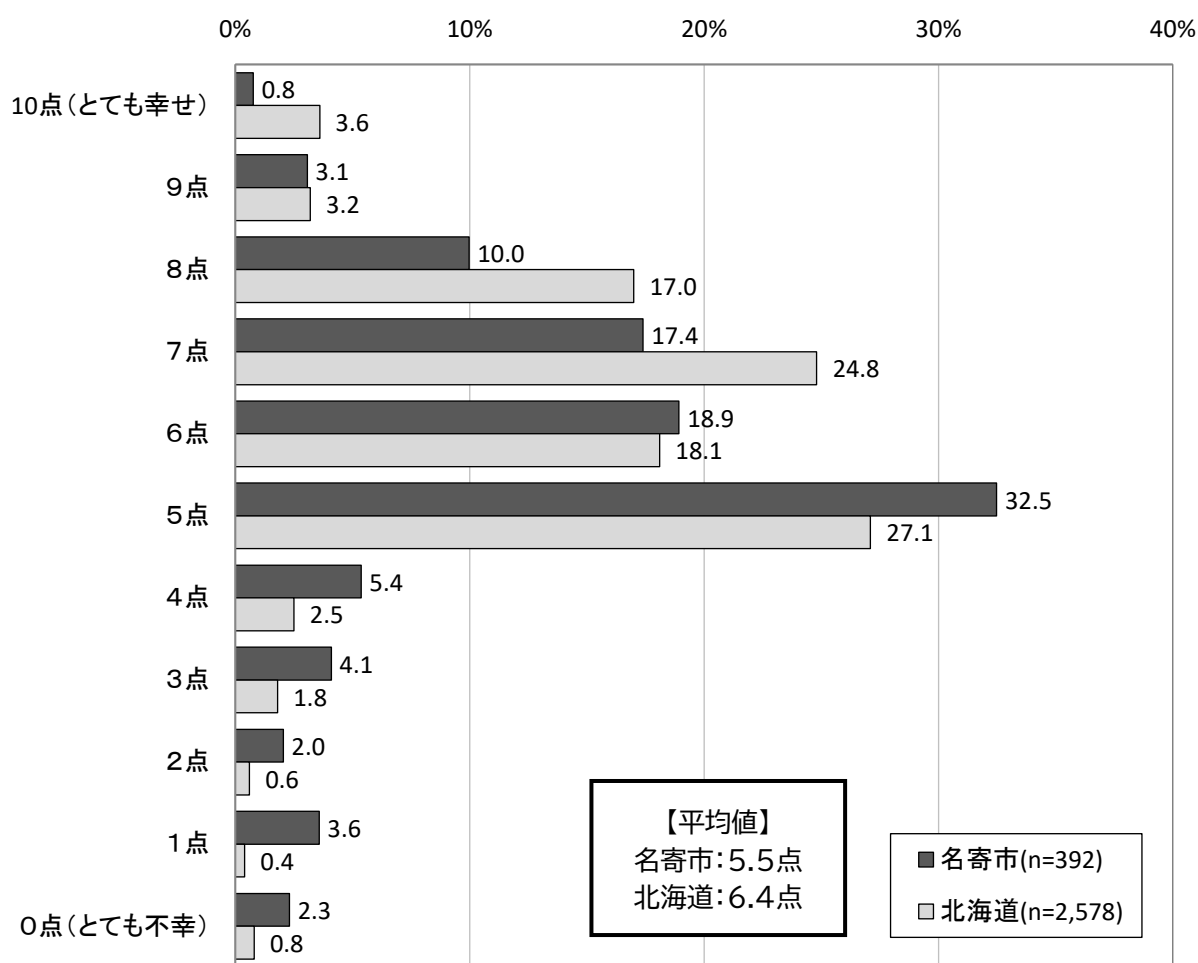
北海道の集計結果と比較すると、本市の平均値は北海道の6.4点を0.9点下回っており、「7点」以上の割合は北海道を下回り、「5点」以下は北海道を上回っている状況です。

北海道の集計結果は札幌市をはじめとする道内で総人口が多い15市の集計結果となっていることから、本市における近所の幸福度は中立的な評価をしている人が多い一方、近所付き合いにおける密度の濃さを苦手としている人が低評価の割合を押し上げていると考えられます。

問13 あなたの町内会・自治会(近所)の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか。

「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

(1つに○印)



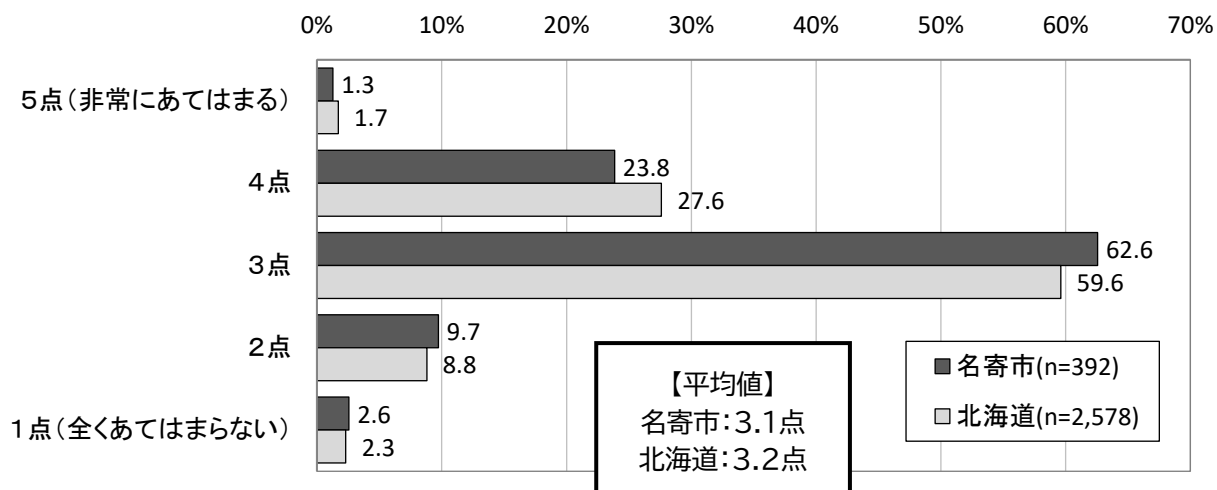
## ⑤自分とまわりの楽しさ

本市において自分と身近なまわりの人がどれだけ楽しい気持ちでいるかどうかは、「3点」が62.6%で突出しており、平均値は3.1点となっています。

北海道の集計結果と比較すると、本市の平均値は北海道とほぼ同等であり、点数ごとの回答の傾向にも大きな差異はみられない状況です。

問13 4 自分だけでなく、身近なまわりの人がどれだけ楽しい気持ちでいると思いますか。

「非常にあてはまる」を5点、「全くあてはまらない」を1点とすると、何点くらいになると思いますか。  
(1つに○印)



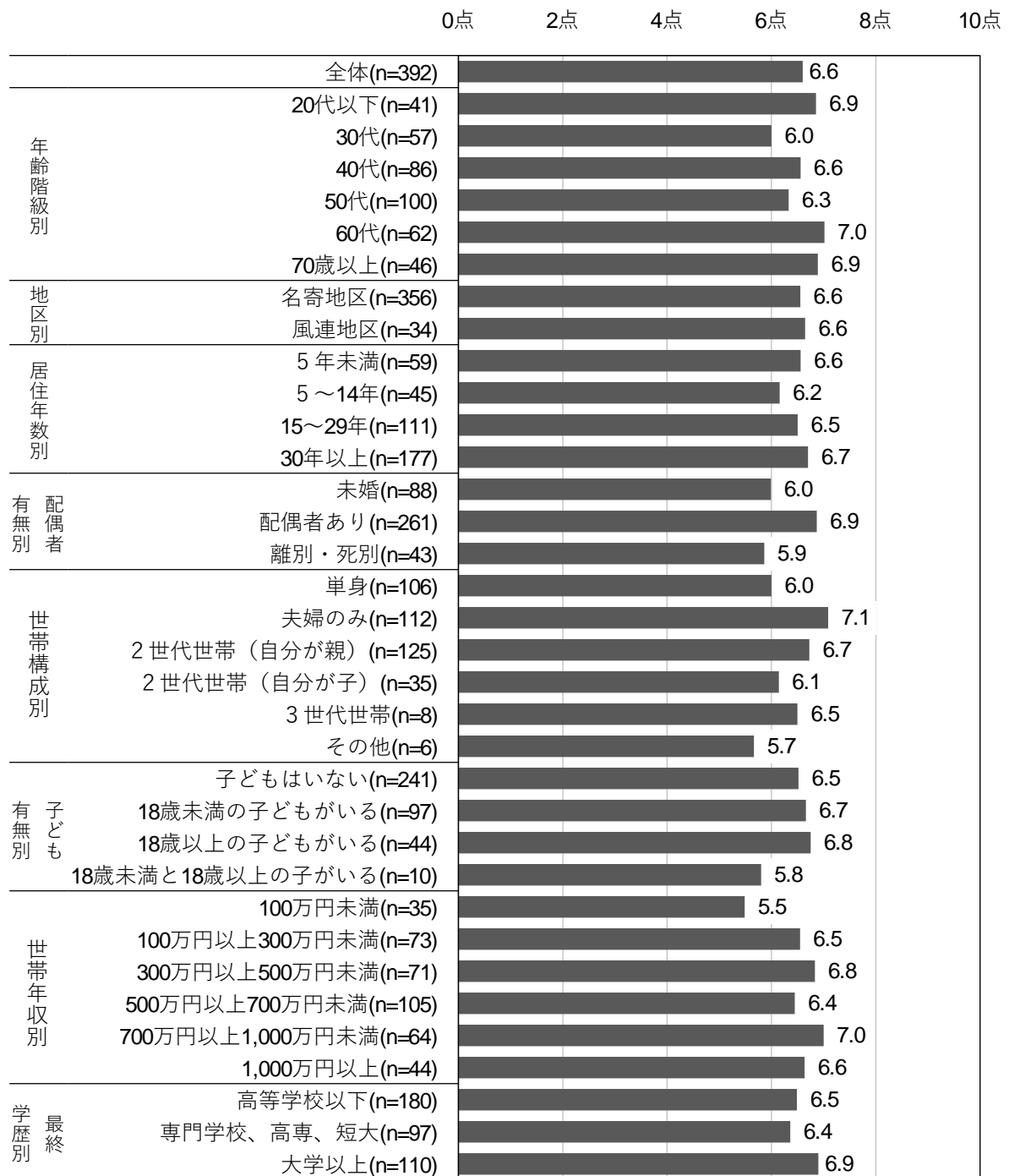
## (2)属性別の評価

### ①現在の幸福度

本市における現在の幸福度の平均値を属性別でみると、年齢階級別では「60代」の7.0点が最も高い一方、「30代」が6.0点で有意な差異がみられる状況です。

現在の幸福度の平均値が最も高いのは、世帯構成別でみた「夫婦のみ」世帯の7.1点で、「単身」世帯の6.0点とは有意な差異がみられます。

一方、現在の幸福度の平均値が最も低いのは世帯年収別でみた「100万円未満」の5.5点となっており、世帯年収による幸福度の違いが表れていると考えられます。

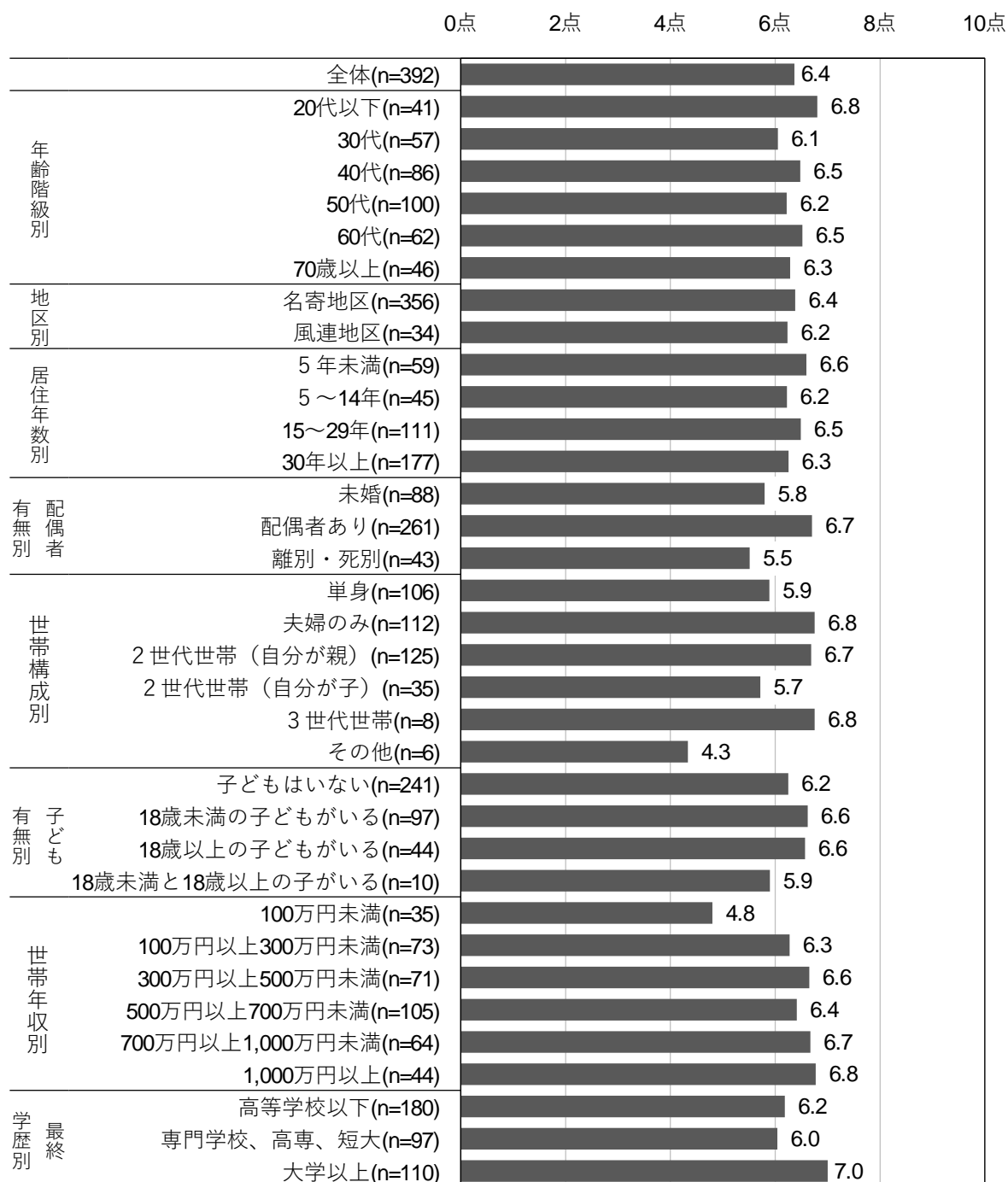


## ②5年後の幸福度

本市における5年後の幸福度の平均値を属性別でみると、年齢階級別では「20代以下」が6.8点で最も高く、最も低い「30代」の6.1点と有意な差異がみられる状況です。

5年後の幸福度の平均値が最も高いのは、最終学歴別でみた「大学以上」の7.0点で、「専門学校、高専、短大」の6.0点とは有意な差異がみられます。

一方、5年後の幸福度の平均値が低いのは、世帯構成別でみた「その他」(回答者数6人)の4.3点が最も低く、次いで、世帯年収別が「100万円未満」の世帯が4.8点で続いています。

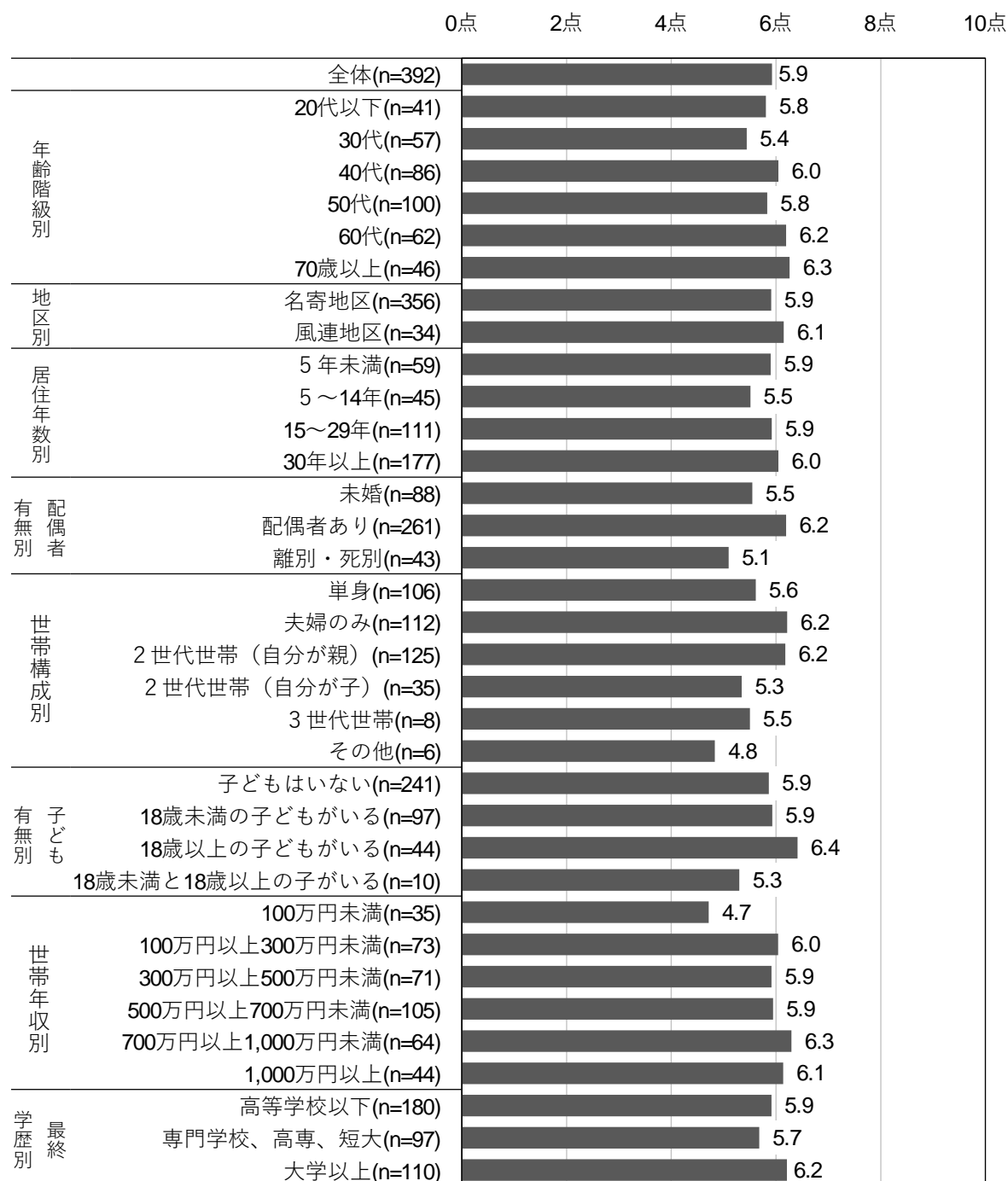


### ③生活満足度

本市における生活満足度の平均値を属性別でみると、年齢階級別では「70歳以下」が6.3点で最も高く、最も低い「30代」の5.4点と有意な差異がみられる状況です。

生活満足度の平均値が最も高いのは、子どもの有無別でみた「18歳以上の子どもがいる」世帯の6.4点となっています。

一方、生活満足度の平均値が最も低いのは、世帯年収別でみた「100万円未満」の4.7点で、100万円以上の世帯と有意な差異がみられる状況です。

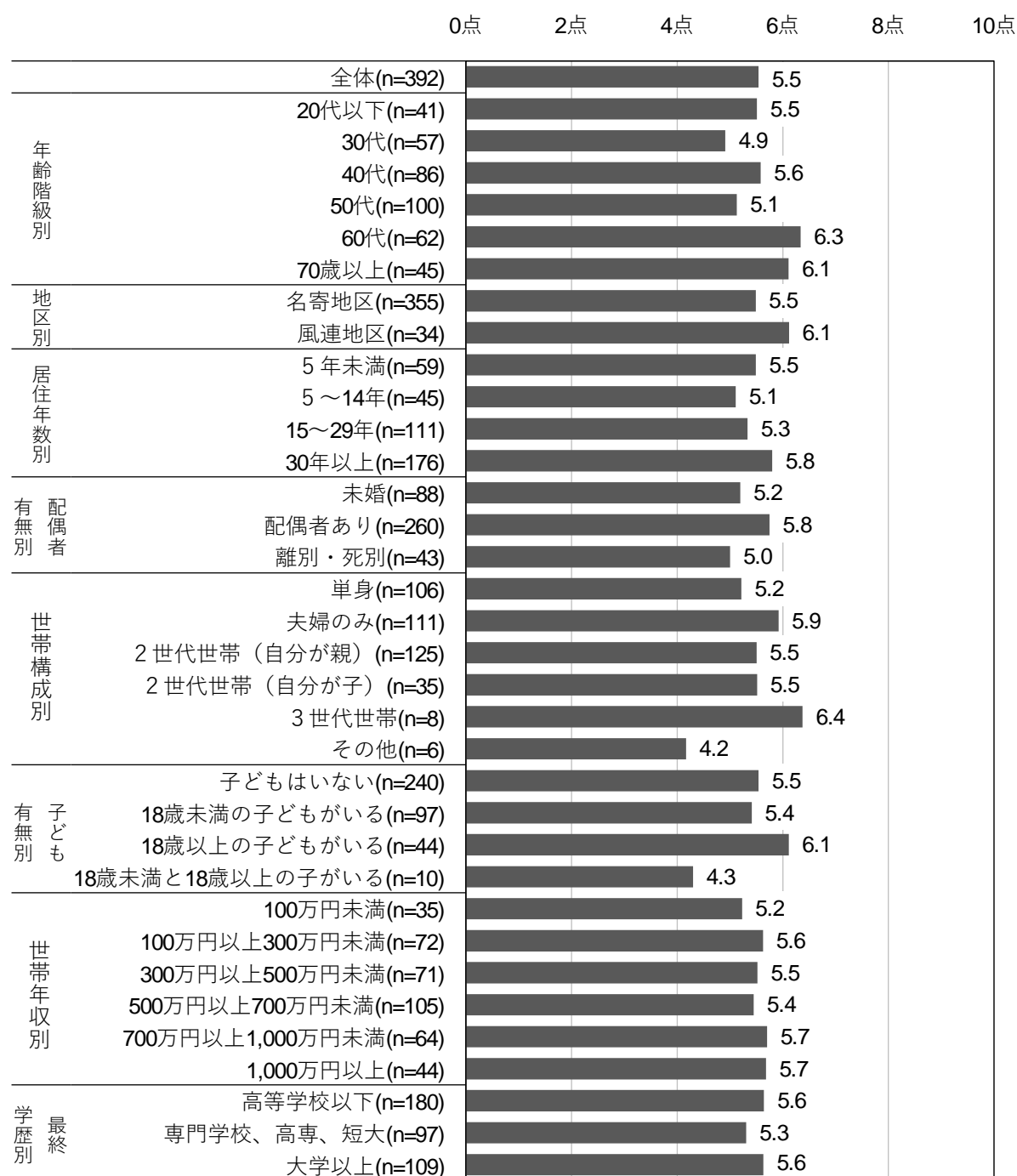


#### ④近所の幸福度

本市における近所の幸福度の平均値を属性別でみると、年齢階級別では「60代」が6.3点で最も高く、最も低い「30代」の4.9点と有意な差異がみられる状況です。

近所の幸福度の平均値が最も高いのは、世帯構成別でみた「3世帯以上」(回答者数8人)の6.4点となっており、次に年齢階級別でみた「60代」の6.3点が続いています。

一方、近所の幸福度の平均値が低いのは、世帯構成別でみた「その他」(回答者数6人)の4.2点及び、子ども有無別でみた「18歳未満と18歳以上の子がいる」世帯(回答者数10人)の4.3点となっています。

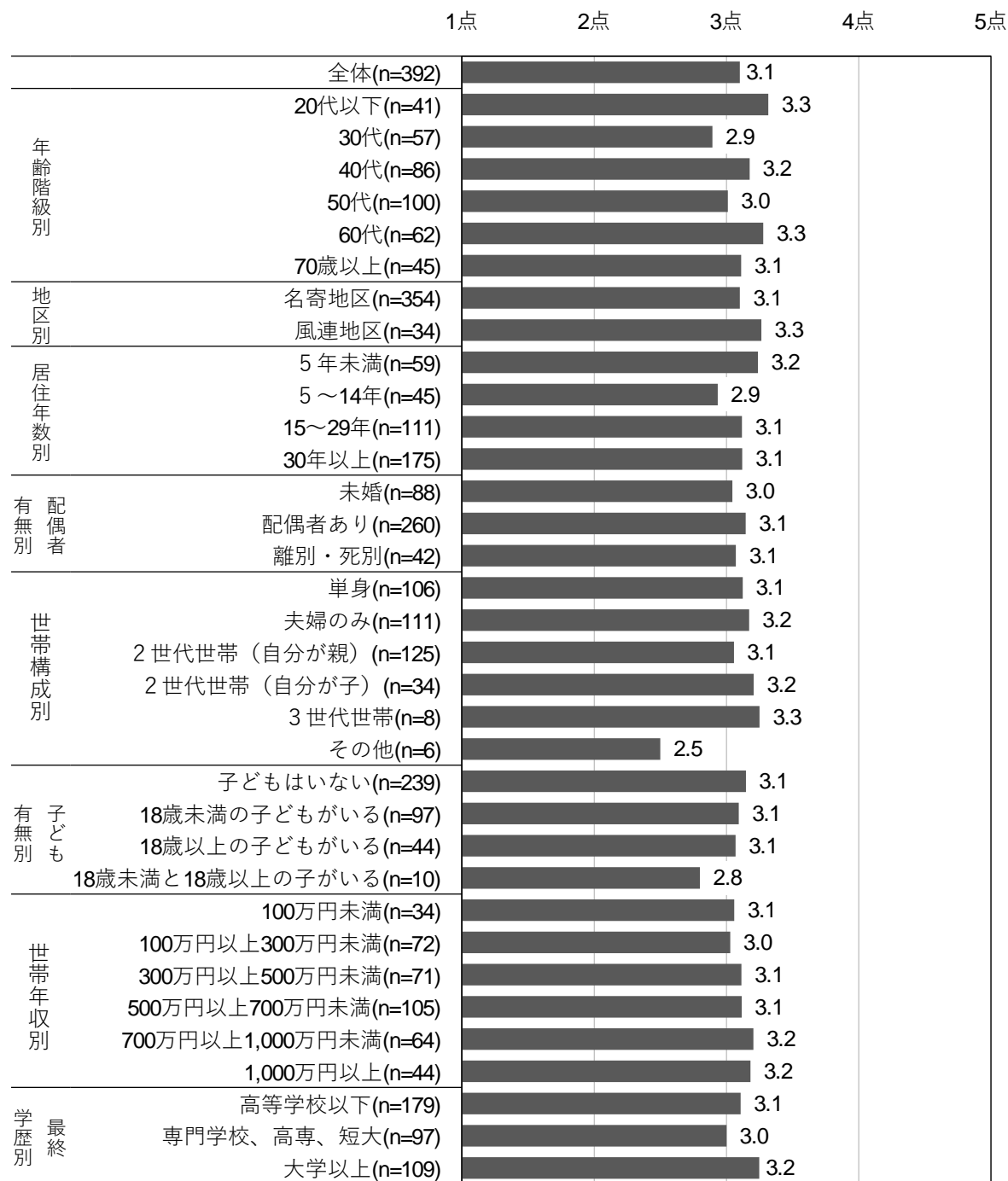




## ⑤自分とまわりの楽しさ

本市における自分とまわりの楽しさの平均値を属性別でみると、年齢階級別では「20代以下」及び「60代」の3.3点が最も高く、「30代」の2.9点が最も低くなっています。

自分とまわりの楽しさの平均値は属性別でみても、世帯構成別でみた「その他」(回答者数6人)が2.5点と低くなっているほか、大きなばらつきはみられない状況です。



### 3. カテゴリー(因子)別の評価

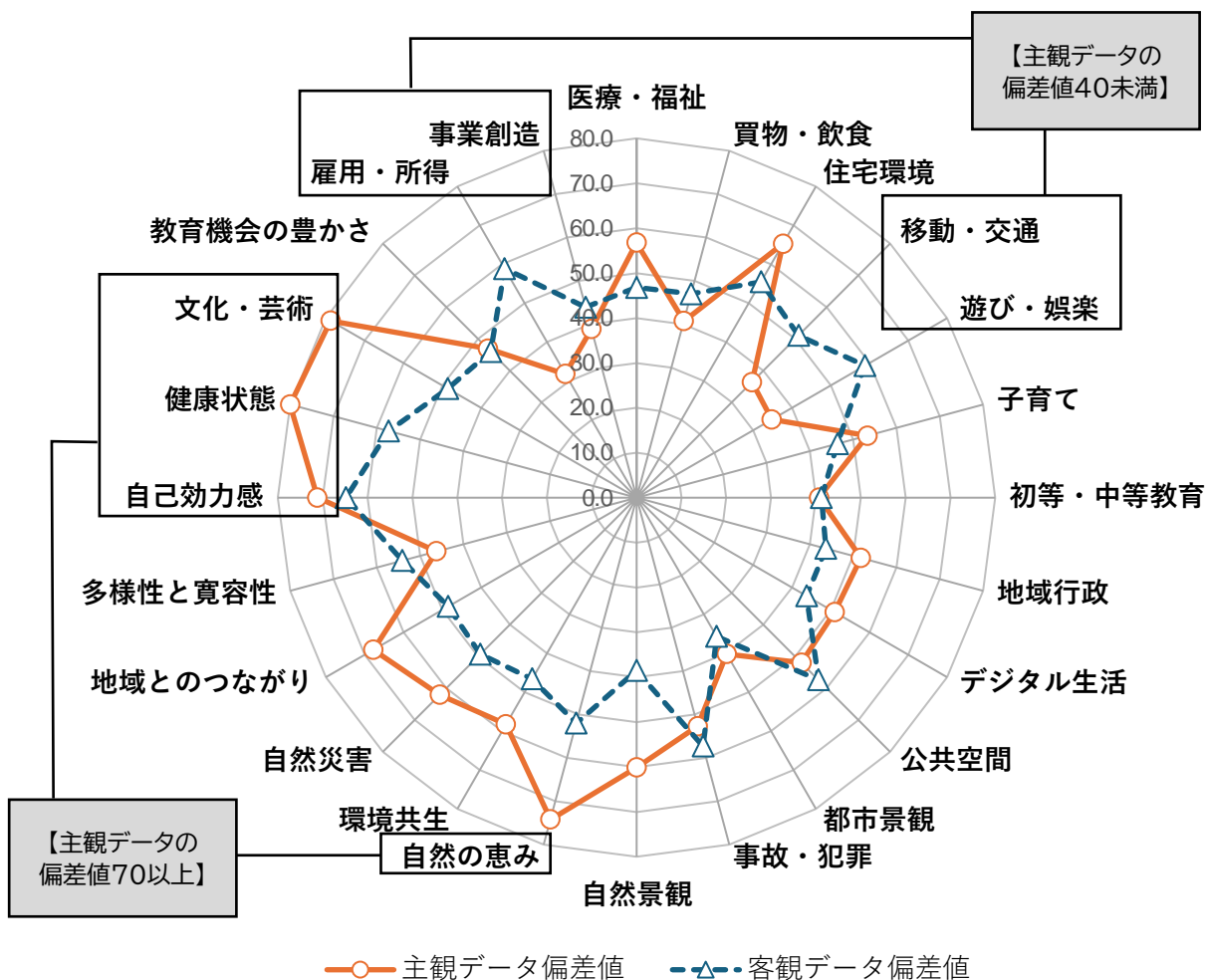
#### (1)主観データと客観データの比較

Well-Being指標の主観データにおいて、3つの因子群(「生活環境」「地域の人間関係」「自分らしい生き方」)を構成する24因子に関して、全国の集計データから偏差値として算出した結果を客観データ(各種オープンデータを基にした客観的なデータ)と比較したグラフは下図のとおりです。

主観データの偏差値が70以上の因子は、「自然の恵み」「自己効力感」「健康状態」「文化・芸術」の4つ、偏差値が60を超えている因子は、「住宅環境」「自然景観」「自然災害」「地域とのつながり」の4つで、これらは本市の強みと捉えられます。

主観データの偏差値が40を下回っている因子は、「移動・交通」「遊び・娯楽」「雇用・所得」「事業創造」の4つで、これらは本市の弱みと想定されます。

一方、客観データの偏差値をみると、60以上の因子は「自己効力感」、40未満の因子は「都市景観」「自然景観」となっています。



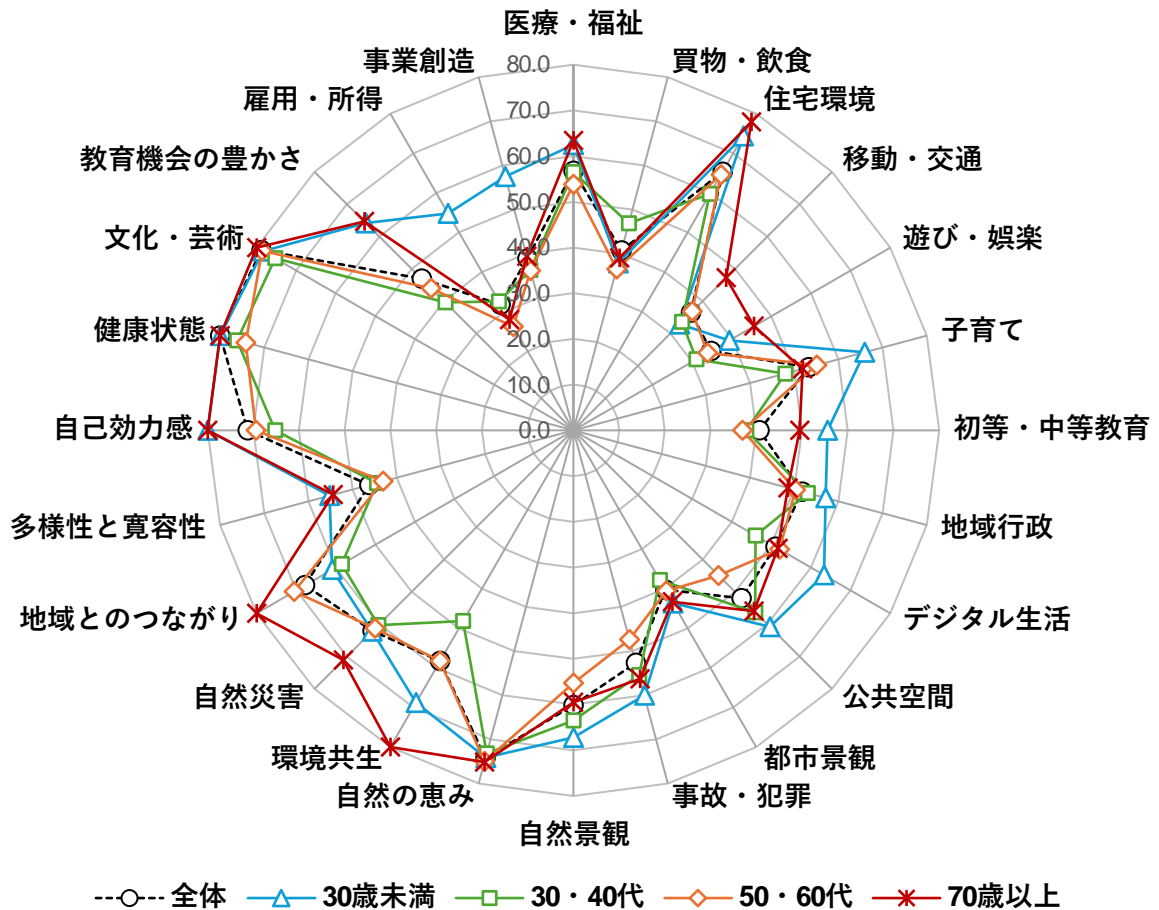
出典:「2025 年版(令和7年度版)Well-Being 個別調査」(デジタル庁)

因子群	カテゴリー (因子)	偏差値		備 考
		主観 データ (A)	客観 データ (B)	
生活環境	医療・福祉	56.8	46.8	
	買物・飲食	40.7	47.0	
	住宅環境	65.3	55.5	主観データ60以上
	移動・交通	36.4	51.1	主観データ40未満
	遊び・娯楽	34.8	58.8	主観データ40未満
	子育て	53.3	46.4	
	初等・中等教育	40.7	41.2	
	地域行政	51.8	43.7	
	デジタル生活	51.0	43.8	
	公共空間	52.0	57.4	
	都市景観	40.2	35.7	客観データ40未満
	事故・犯罪	52.7	57.3	
	自然景観	60.1	38.5	主観データ60以上 客観データ40未満
	自然の恵み	74.2	52.0	主観データ70以上
	環境共生	58.3	46.6	
	自然災害	62.1	49.3	主観データ60以上
地域の人間関係	地域とのつながり	67.8	48.5	主観データ60以上
	多様性と寛容性	46.2	54.1	
自分らしい生き方	自己効力感	71.2	64.8	主観データ70以上 客観データ60以上
	健康状態	80.0	57.3	主観データ70以上
	文化・芸術	78.8	48.6	主観データ70以上
	教育機会の豊かさ	46.9	46.0	
	雇用・所得	31.8	58.9	主観データ40未満
	事業創造	38.9	43.9	主観データ40未満

## (2)年齢階級別主観データ

Well-Being指標の主観データを年齢階級別でみても、「住宅環境」「自然の恵み」「自己効力感」「健康状態」「文化・芸術」の因子はほとんどの年齢階級で偏差値が高くなっています。

一方、「買物・飲食」「移動・交通」「遊び・娯楽」「雇用・所得」「事業創造」の因子は多くの年齢階級で偏差値40を下回っているほか、30・40代は「初等・中等教育」「都市景観」「教育機会の豊かさ」の因子も偏差値40を下回っています。



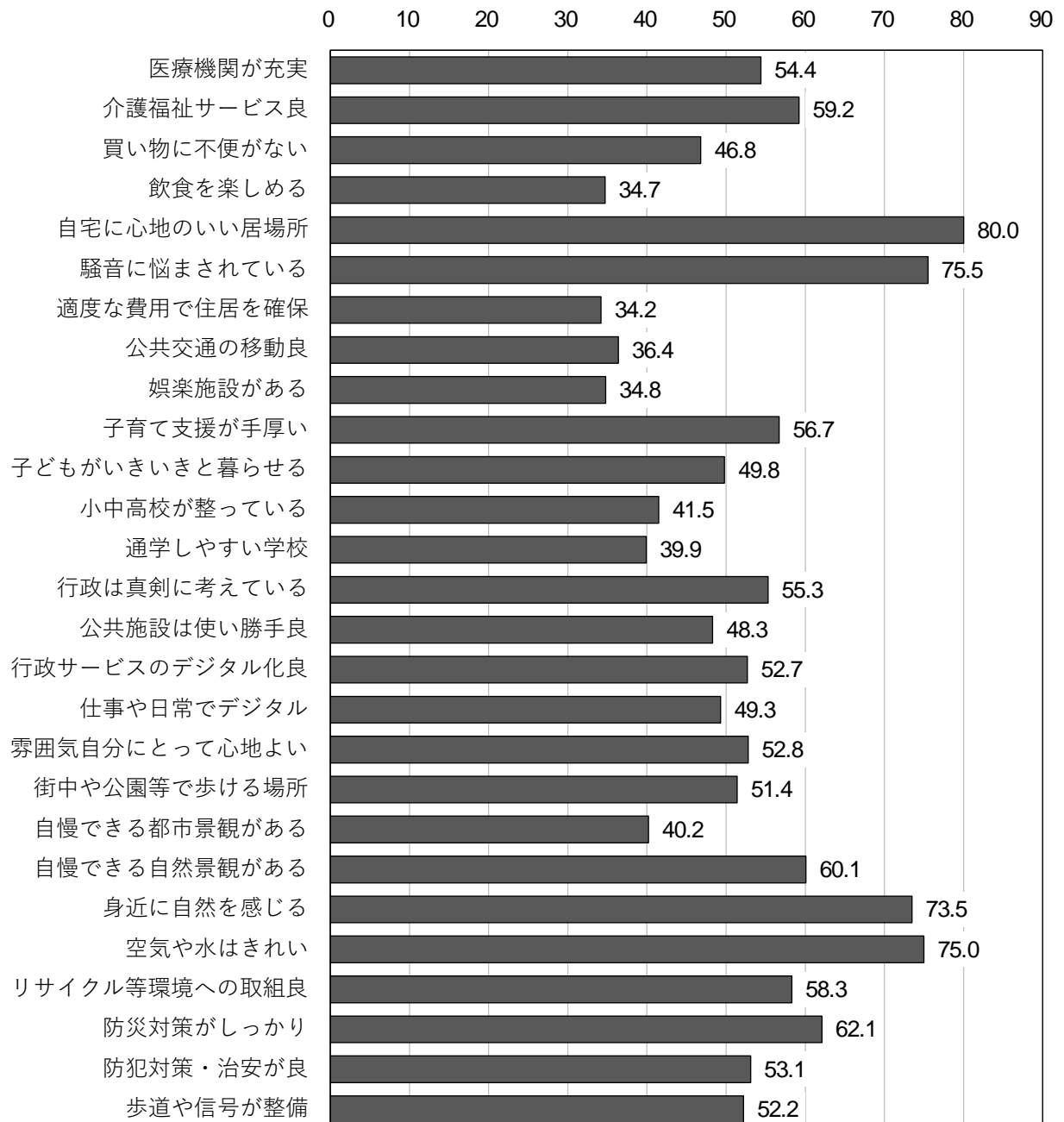
因子群	カテゴリー (因子)	主観データ(偏差値)				
		全体	30歳 未満	30代・ 40代	50代・ 60代	70歳 以上
生活環境	医療・福祉	56.8	62.5	56.5	53.8	63.4
	買物・飲食	40.7	37.9	46.9	36.5	39.1
	住宅環境	65.3	74.4	59.7	64.6	77.9
	移動・交通	36.4	32.9	33.6	36.8	47.2
	遊び・娯楽	34.8	39.4	31.1	33.9	45.6
	子育て	53.3	66.0	48.0	55.1	51.9
	初等・中等教育	40.7	55.6	37.8	37.0	49.5
	地域行政	51.8	57.1	53.1	50.3	48.6
	デジタル生活	51.0	63.3	46.0	52.1	51.7
	公共空間	52.0	60.8	56.3	44.9	55.9
	都市景観	40.2	43.6	37.8	40.6	43.3
	事故・犯罪	52.7	60.0	55.4	47.4	56.3
	自然景観	60.1	67.2	63.5	55.3	59.5
	自然の恵み	74.2	74.1	73.2	75.0	75.1
	環境共生	58.3	68.8	48.2	58.3	80.0
	自然災害	62.1	62.2	60.3	61.3	71.1
地域の人間関係	地域とのつながり	67.8	60.9	58.5	70.5	80.0
	多様性と寛容性	46.2	55.2	44.5	43.1	54.4
自分らしい生き方	自己効力感	71.2	80.0	65.2	69.4	80.0
	健康状態	80.0	80.0	76.1	74.2	80.0
	文化・芸術	78.8	78.4	75.3	78.6	80.0
	教育機会の豊かさ	46.9	64.2	39.6	44.0	64.6
	雇用・所得	31.8	54.8	32.6	26.2	28.0
	事業創造	38.9	57.5	36.3	36.2	39.4

### (3)主観データの詳細

#### ①生活環境

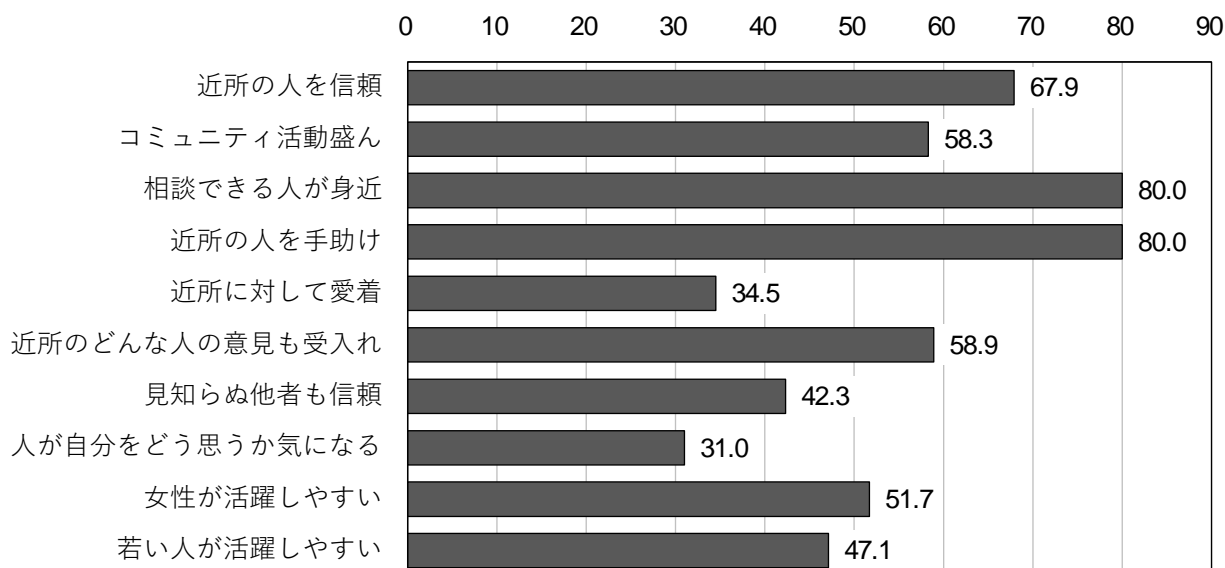
Well-Being指標の主観データのうち、生活環境を構成する因子の設問を偏差値でみると、「自宅に心地いい居場所」「騒音に悩まされている」「身近に自然を感じる」「空気や水はきれい」の偏差値が70を超えています。

一方、偏差値が40を下回っているのは「飲食を楽しめる」「適度な費用で住居を確保」「公共交通の移動良」「娯楽施設がある」となっています。



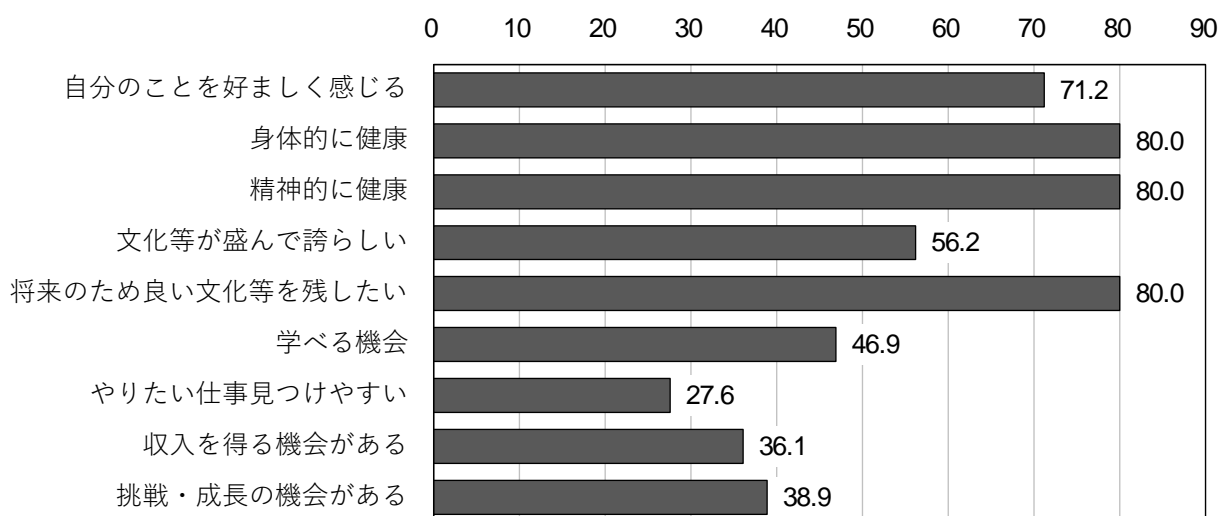
## ②地域の人間関係

Well-Being指標の主観データのうち、地域の人間関係を構成する因子の設問を偏差値でみると、「相談できる人が身近」「近所の人を手助け」の偏差値が80と高い一方、「人が自分をどう思うか気になる」「近所に対して愛着」が偏差値40を下回っています。



## ③自分らしい生き方

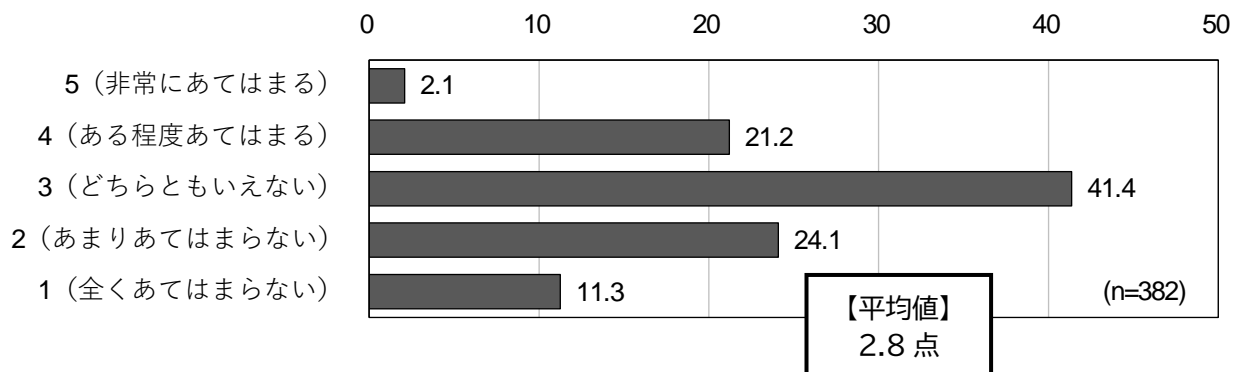
Well-Being指標の主観データのうち、自分らしい生き方を構成する因子の設問を偏差値でみると、「身体的に健康」「精神的に健康」「将来のため良い文化等を残したい」の偏差値が80と高い一方、「やりたい仕事を見つけやすい」「収入を得る機会がある」「挑戦・成長の機会がある」が偏差値40を下回っています。



#### (4)独自設問

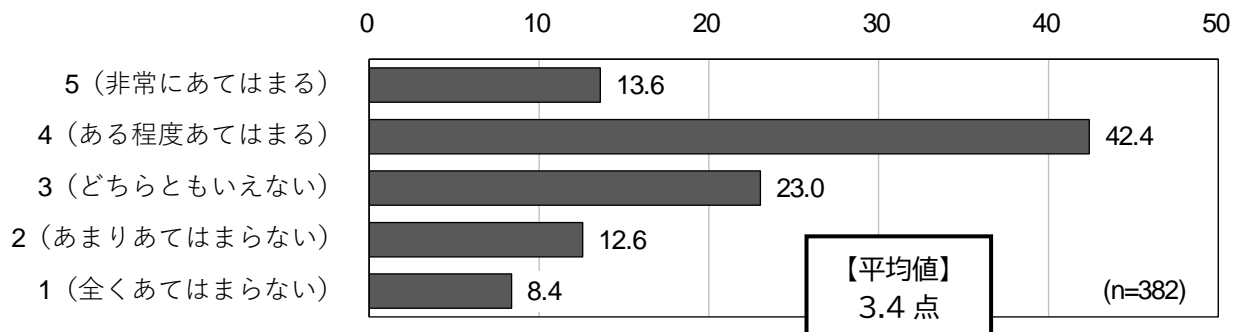
##### ①地域の文化・芸術に満足している

Well-Being指標の主観データの独自設問として、地域の文化・芸術に満足しているかどうかをたずねたところ、「3(どちらともいえない)」が41.3%で最も多く、次いで「2(あまりあてはまらない)」が24.1%で続いており、平均値は2.8点となっています。



##### ②時間のゆとりがある

Well-Being指標の主観データの独自設問として、地域の文化・芸術に満足しているかどうかをたずねたところ、「4(ある程度あてはまる)」が42.4%で最も多く、次いで「3(どちらともいえない)」が23.0%で続いており、平均値は3.4点となっています。



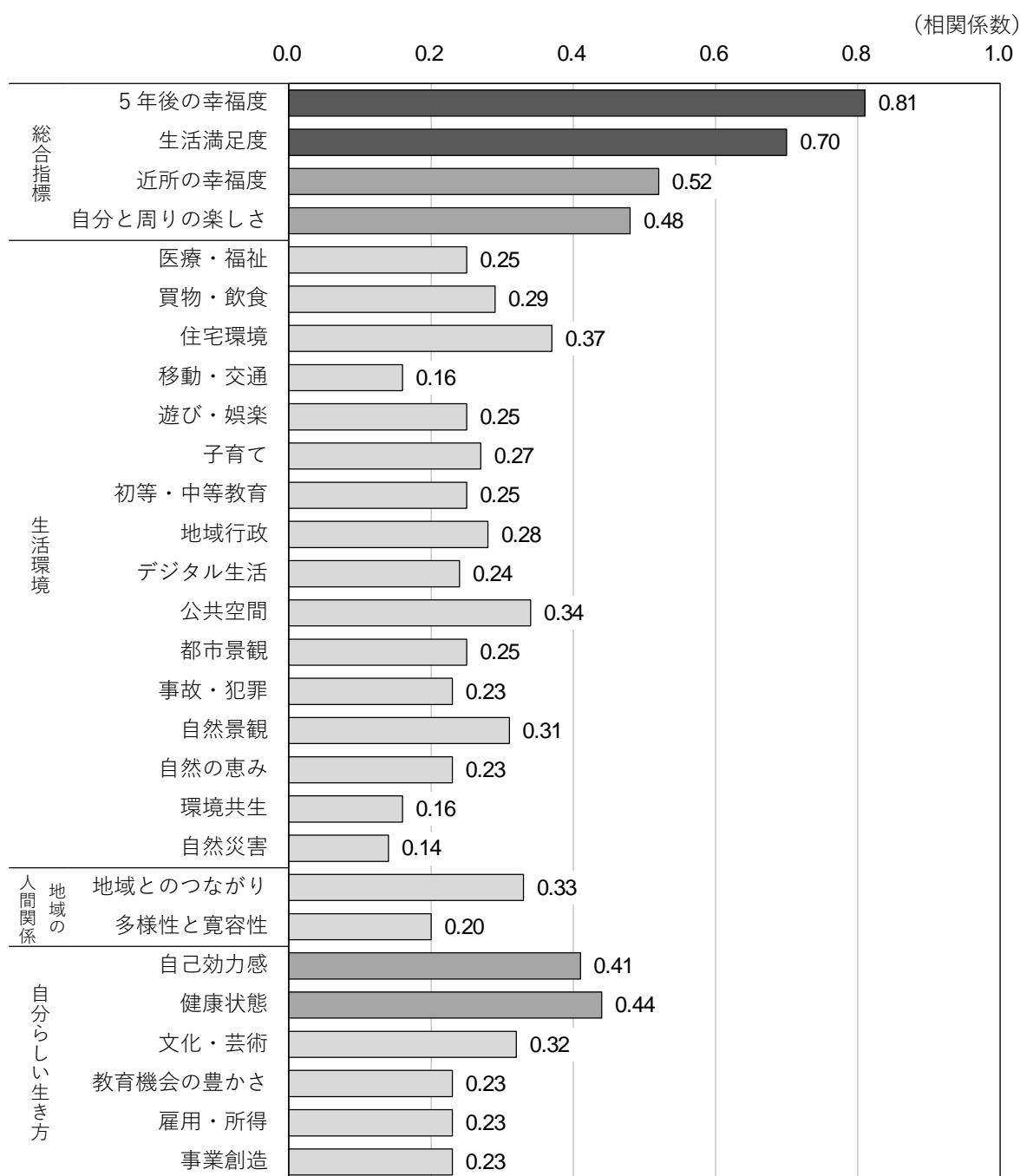


## 4. 幸福度・満足度と因子との相関

### (1)現在の幸福度

「現在の幸福度」と他の総合指標との相関分析を行ったところ、「5年後の幸福度」(0.81)及び「生活満足度」(0.70)には非常に強い相関がみられるほか、「近所の幸福度」(0.52)、「自分と周りの楽しさ」(0.48)にも強い相関がみられました。

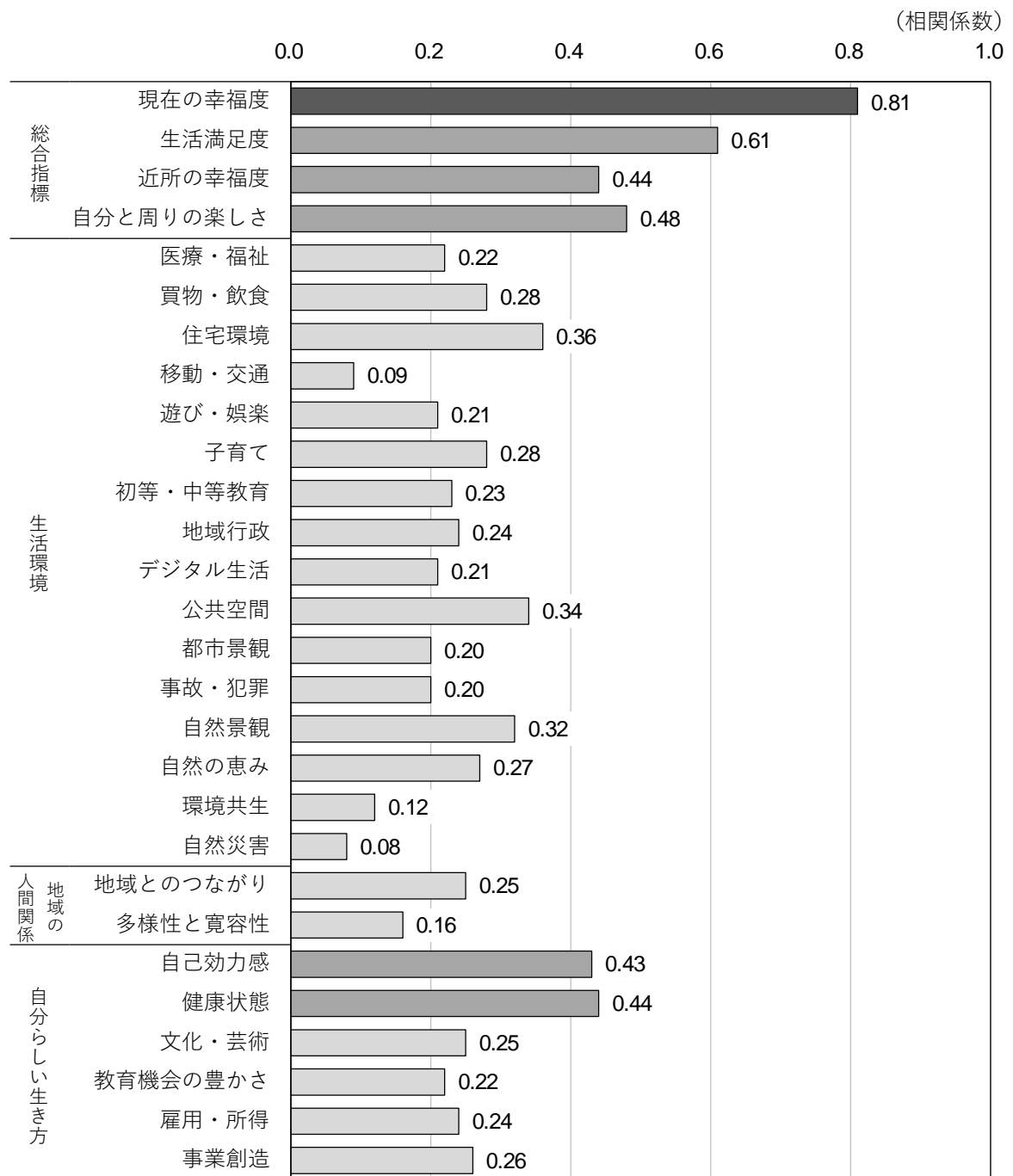
「現在の幸福度」と各因子との相関関係をみると、「自己効力感」(0.41)及び「健康状態」(0.44)に強い相関がみられますが、「移動・交通」(0.16)、「環境共生」(0.16)及び「自然災害」(0.14)は相関が弱いと考えられます。



## (2)5年後の幸福度

「5年後の幸福度」と他の総合指標との相関分析を行ったところ、「現在の幸福度」(0.81)との非常に強い相関がみられるほか、「生活満足度」(0.61)、「近所の幸福度」(0.44)及び「自分と周りの楽しさ」(0.48)にも強い相関がみられました。

「5年後の幸福度」と各因子との相関関係をみると、「自己効力感」(0.43)及び「健康状態」(0.44)に強い相関がみられますが、「移動・交通」(0.09)、「環境共生」(0.12)及び「自然災害」(0.08)は相関が弱いと考えられます。

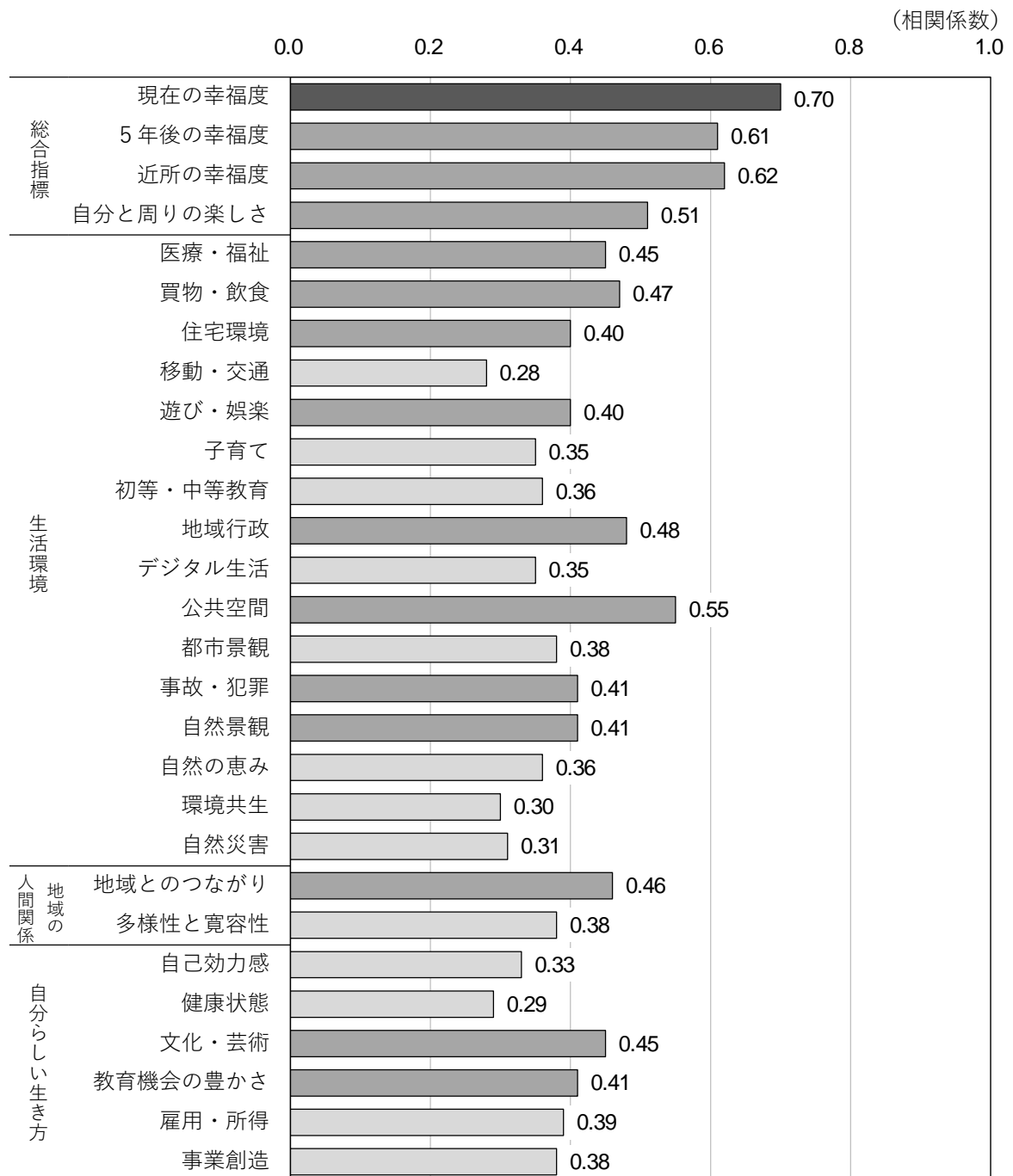


### (3)生活満足度

「生活満足度」と他の総合指標との相関分析を行ったところ、「現在の幸福度」(0.70)との非常に強い相関がみられるほか、「5年後の満足度」(0.61)、「近所の幸福度」(0.62)及び「自分と周りの楽しさ」(0.51)にも強い相関がみられました。

「生活満足度」と各因子との相関係数をみると、「公共空間」が0.55で最も高く、次いで「地域行政」(0.48)、「買物・飲食」(0.47)が続いています。

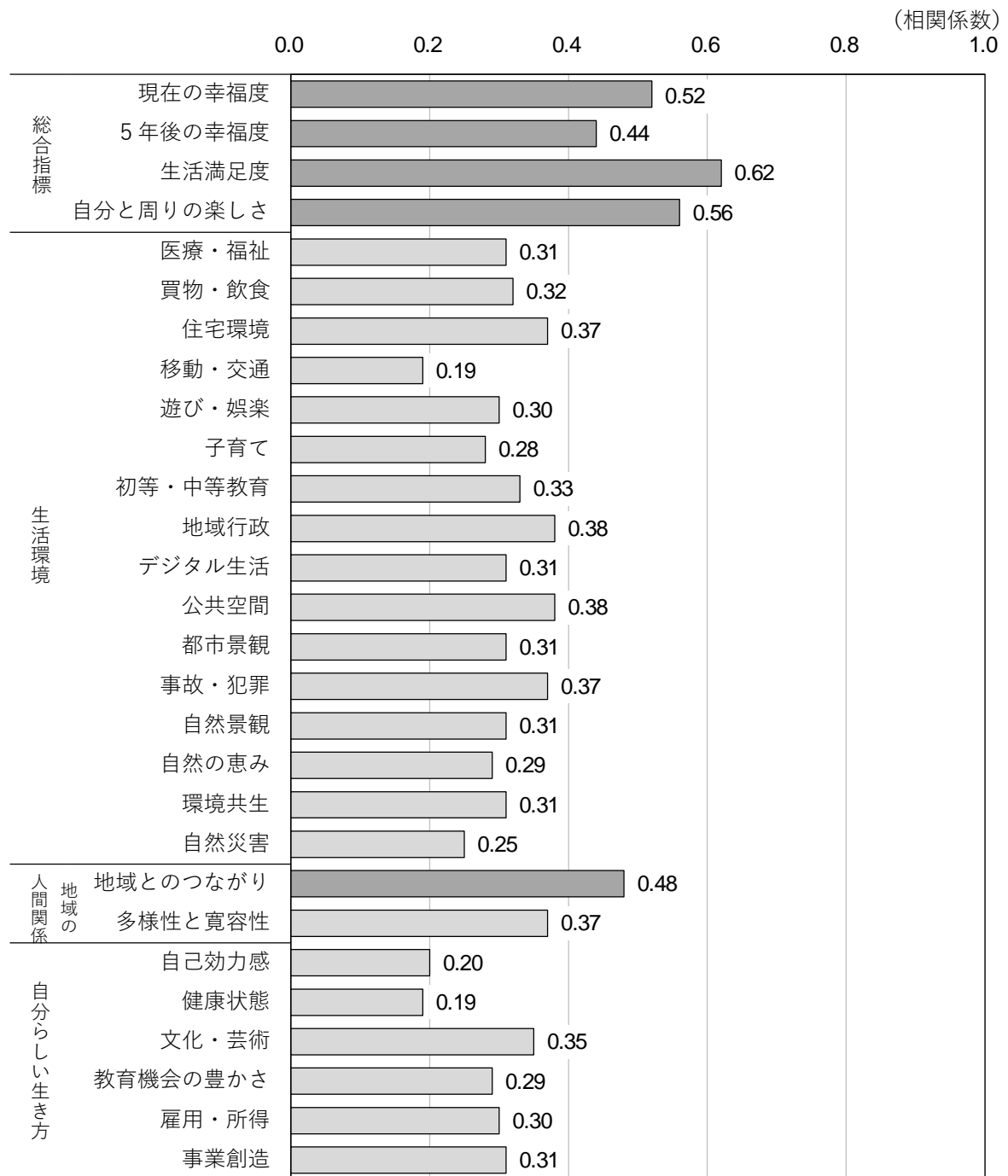
一方、「移動・交通」(0.28)、「環境共生」(0.30)及び「自然災害」(0.31)は他の因子と比べて相関係数が低い状況です。



#### (4)近所の幸福度

「近所の幸福度」と他の総合指標との相関分析を行ったところ、「現在の幸福度」(0.52)、「5年後の満足度」(0.44)、「生活満足度」(0.62)及び「自分と周りの楽しさ」(0.56)に強い相関がみられました。

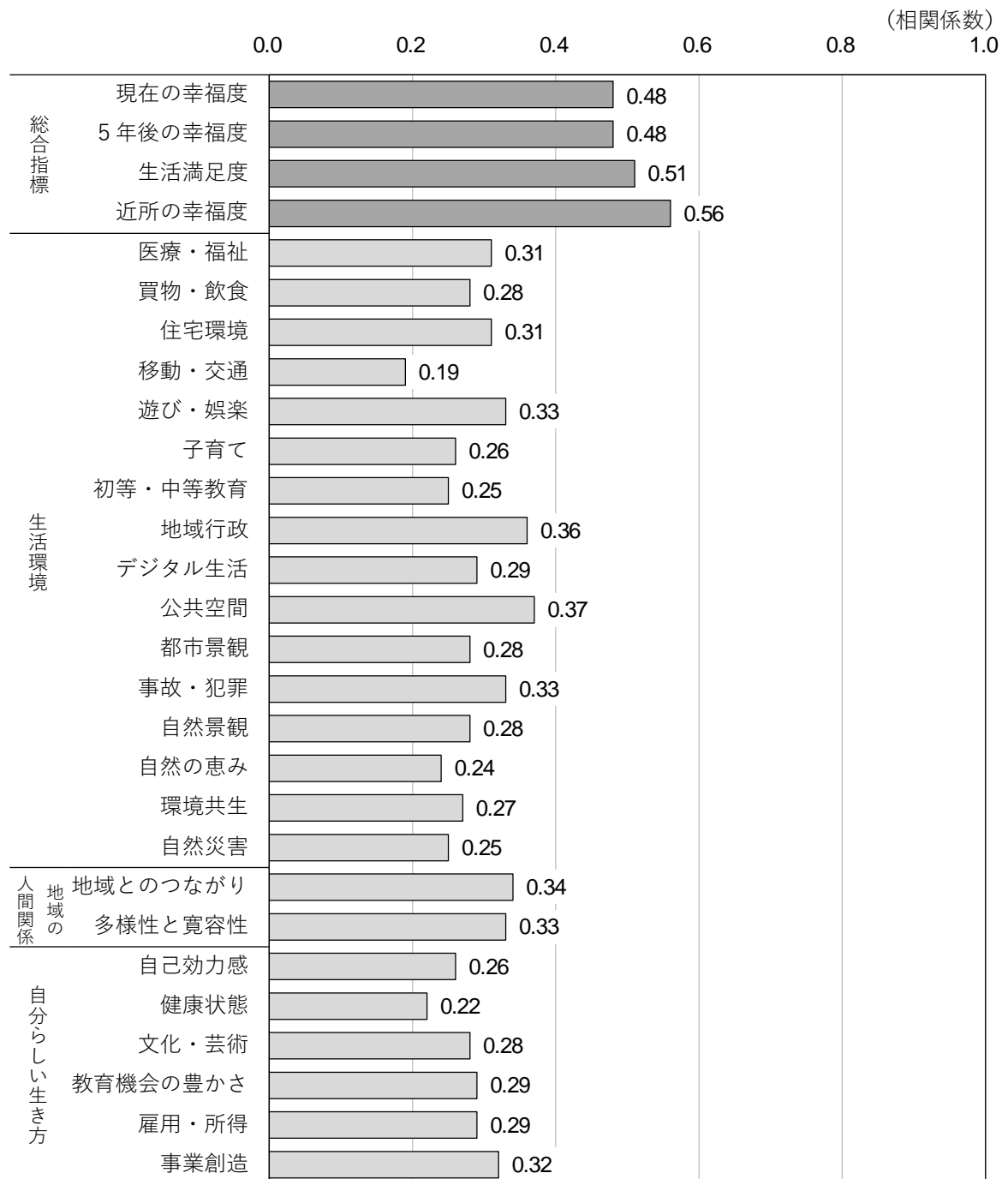
「近所の幸福度」と各因子との相関係数をみると、「地域とのつながり」(0.48)に強い相関がみられますが、「移動・交通」(0.19)、「自己効力感」(0.20)及び「健康状態」(0.19)は他の因子と比べて相関係数が低い状況です。



## (5)自分とまわりの楽しさ

「自分とまわりの楽しさ」と他の総合指標との相関分析を行ったところ、「現在の幸福度」(0.48)、「5年後の幸福度」(0.48)、「生活満足度」(0.51)及び「地域の幸福度」(0.56)に強い相関がみられました。

「自分とまわりの楽しさ」と各因子との相関係数をみると、強い相関がみられる因子はありませんでしたが、「公共空間」の0.37が相関係数として最も高く、次いで「地域行政」(0.36)、「地域とのつながり」(0.34)が続いています。



### III 参考資料

#### 1. 主観データの設問(令和7年度版)

##### (1)幸福度・満足度

	因子	設問	回答
1	幸福度・満足度	現在、あなたはどの程度幸せですか。	とても幸せ=10 ～とても不幸=0
2	幸福度・満足度	今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。	とても幸せ=10 ～とても不幸=0
3	幸福度・満足度	現在、名寄市の暮らしにどの程度満足していますか。	とても満足=10 ～とても不満足=0
4	幸福度・満足度	あなたの町内会・自治会(近所)の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか。	とても幸せ=10 ～とても不幸=0
5	幸福度・満足度	自分だけでなく、身近なまわりの人がどれだけ楽しい気持ちでいると思いますか。	非常にあてはまる=5 ～全くあてはまらない=1

##### (2)生活環境(16因子、27問)

	因子	設問	回答
1	医療・福祉	暮らしている地域は、医療機関が充実している	非常にあてはまる=5 ～全くあてはまらない=1
2		私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	
3	買物・飲食	暮らしている地域は、日常の買い物に全く不便がない	
4		私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	
5	住宅環境	自宅には、心地のいい居場所がある	非常にあてはまる=1 ～全くあてはまらない=5
6		自宅の近辺では、騒音に悩まされている	
7		私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる	
8	移動・交通	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	非常にあてはまる=5 ～全くあてはまらない=1
9	遊び・娯楽	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	
10	子育て	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	
11		私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	
12	初等・中等教育	私の暮らしている地域では、教育環境(小中高校)が整っている	
13		私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある	
14	地域行政	暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う	
15	地域行政	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	
16	デジタル生活	私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる	
17		私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	

	因子	設問	回答
18	公共空間	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	非常にあてはまる=5 ～全くあてはまらない=1
19	公共空間	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	
20	都市景観	私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある	
21	自然景観	私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある	
22	自然の恵み	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	
23		暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	
24	環境共生	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取り組みが盛んである	
25	自然災害	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	
26	事故・犯罪	私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい	
27		私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	

### (3)地域の人間関係(2因子、10問)

	因子	設問	回答
1	地域とのつながり	私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している	非常にあてはまる=5 ～全くあてはまらない=1
2		私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	
3		暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	
4		私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	
5		私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	
6	多様性と寛容性	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	
7		私は、見知らぬ他者であっても信頼する	
8		私は、町内(集落)の人が自分をどう思っているかが気になる	
9		私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある	
10		私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある	

### (4)自分らしい生き方(7因子、11問)

	因子	設問	回答
1	自己効力感	自分のことを好ましく感じる	非常にあてはまる=5 ～全くあてはまらない=1
2	健康状態	私は、身体的に健康な状態である	
3		私は、精神的に健康な状態である	
4	文化・芸術	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	

	因子	設問	回答
5	文化・芸術	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	非常にあてはまる=5 ～全くあてはまらない=1
6	教育機会の豊かさ	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	
7	雇用・所得	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	
8		私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	
9	事業創造	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	
10	文化・芸術	私は、暮らしている地域の文化・芸術に満足している	【任意項目】 非常にあてはまる=5 ～全くあてはまらない=1
11	ゆとり	日頃の生活の中で、休んだり、好きなことをしたりする時間のゆとりがある	



## 2. 客観データのカタログ

市区町村版 暮らしやすさ客観指標のカタログ			
<p>指数を構成するKPIは次ページを参照 *各都道府県・市区町村HP等から取得 (-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出</p>			
生活環境 (16)			
<b>医療・福祉</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 医療施設徒歩圏人口カバー率</li> <li>■ 医療施設徒歩圏平均人口密度 (-)</li> <li>■ 人口あたり国保医療費 (-)</li> <li>■ 人口あたり後期高齢者医療費 (-)</li> <li>■ 特定健康診断受診率</li> <li>■ 福祉施設徒歩圏人口カバー率</li> <li>■ 福祉施設徒歩圏平均人口密度 (-)</li> <li>■ 人口あたり児童福祉施設数</li> <li>■ 人口あたり障害者施設数</li> <li>■ 人口あたり認知症サポートチーム・サポーター数</li> </ul>	<b>遊び・娯楽</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人口あたり娯楽施設 (映画館、劇場、スポーツ施設等) の事業所数</li> </ul>	<b>公共空間</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公園緑地徒歩圏人口カバー率</li> <li>■ 人口あたり公園の面積</li> <li>■ 歩道設置率</li> <li>■ ウォーカブル指数</li> </ul>	<b>自然の恵み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 表層崩壊からの安全率</li> <li>■ 緑地へのアクセス度</li> <li>■ 水域へのアクセス度</li> <li>■ オートキャンプ場への立地</li> </ul>
<b>買物・飲食</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 商業施設徒歩圏人口カバー率</li> <li>■ 商業施設徒歩圏平均人口密度 (-)</li> <li>■ 可住地面積あたりの飲食店数</li> <li>■ 人口あたり飲食店数</li> </ul>	<b>子育て</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 保育所まで1km未満の住宅割合</li> <li>■ 可住地面積あたり幼稚園数</li> <li>■ 施設あたり幼稚園児数 (-)</li> <li>■ 人口あたり待機児童数 (-)</li> <li>■ 歳出総額における教育費の構成比</li> <li>■ 合計特殊出生率</li> </ul>	<b>都市景観</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 都市景観指数</li> </ul>	<b>環境共生</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ NOx平均値 (-)</li> <li>■ PM2.5年平均値 (-)</li> <li>■ ゴミのリサイクル率</li> <li>■ 人口あたり年間CO2排出量 (-)</li> <li>■ 人口あたり再生エネルギー</li> <li>■ 環境政策指数</li> </ul>
<b>住宅環境</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 住宅あたり延べ面積</li> <li>■ 平均価格 (住宅地) (-)</li> <li>■ 専用住宅1m2あたり家賃 (-)</li> <li>■ 一戸建の持ち家の割合</li> </ul>	<b>初等・中等教育</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 可住地面積あたり小学校数</li> <li>■ 可住地面積あたり中学校数</li> <li>■ 可住地面積あたり高等学校数</li> <li>■ 施設あたり小学生数 (-)</li> <li>■ 施設あたり中学生数 (-)</li> <li>■ 施設あたり高校生数 (-)</li> </ul>	<b>自然景観</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自然景観指数</li> </ul>	<b>自然災害</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外水氾濫危険度</li> <li>■ 高潮危険度</li> <li>■ 土砂災害危険度</li> <li>■ 地震動危険度</li> <li>■ 津波危険度</li> <li>■ ハード対策</li> <li>■ 避難・救助</li> <li>■ 要配慮者支援</li> <li>■ 防災教育</li> <li>■ 防災まちづくり</li> <li>■ 情報・デジタル防災</li> </ul>
<b>移動・交通</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駅またはバス停留所徒歩圏人口カバー率</li> <li>■ 駅およびバス停留所徒歩圏人口密度 (-)</li> <li>■ 人口あたり小型車走行キロ (-)</li> <li>■ 通勤通学に自家用車・オートバイ・タクシーを用いない割合</li> <li>■ 職場までの平均通勤時間 (-)</li> </ul>	<b>地域行政</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人口あたり体育施設利用者数</li> <li>■ 人口あたり図書館借出数</li> <li>■ 人口あたり博物館入館者数</li> <li>■ 地域財政指数</li> </ul>	<b>事故・犯罪</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人口あたり交通事故件数* (-)</li> <li>■ 人口あたり刑法犯認知件数* (-)</li> <li>■ 空家率 (-)</li> </ul>	<p>指数を構成するKPIはP14~15を参照 *各都道府県・市区町村HP等から取得 (-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出</p>
	<b>デジタル生活</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自治体DX指数</li> <li>■ デジタル政策指数</li> <li>■ デジタル生活指数</li> </ul>	<b>自然の恵み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 食料生産ポテンシャル</li> <li>■ 水供給ポテンシャル</li> <li>■ 木材供給ポテンシャル</li> <li>■ 炭素吸収量</li> <li>■ 蒸発散量</li> <li>■ 地下水涵養量</li> <li>■ 土壌流出防止量</li> <li>■ 窒素除去量</li> <li>■ リン酸除去量</li> <li>■ NO2吸収量</li> <li>■ SO2吸収量</li> <li>■ 洪水調整量</li> </ul>	

市区町村版 暮らしやすさ客観指標のカタログ			
<p>指数を構成するKPIは次ページを参照 *各都道府県・市区町村HP等から取得 (-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出</p>			
地域の間関係 (2)		自分らしい生き方 (6)	
<b>地域とのつながり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人口あたり自殺者数 (-)</li> <li>■ 拡大家族世帯割合</li> <li>■ 既婚者の割合</li> <li>■ 高齢単身世帯の割合 (-)</li> <li>■ 居住期間が20年以上の人口の割合</li> <li>■ 祭り開催数</li> <li>■ 自治会・町内会加入率*</li> <li>■ 人口あたり政治団体等の数</li> <li>■ 人口あたり宗教の事業所数</li> <li>■ 人口あたりNPOの数</li> <li>■ 人口あたり都市再生推進法人・UDCの数</li> <li>■ 関係人口創出活動指数</li> </ul>	<b>自己効力感</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 首長選挙投票率</li> <li>■ 市区町村議会選挙の投票率</li> </ul>	<b>雇用・所得</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 完全失業率 (-)</li> <li>■ 若年層完全失業率 (-)</li> <li>■ 正規雇用者比率</li> <li>■ 高齢者有業率</li> <li>■ 高卒者進路未定者率 (-)</li> <li>■ 市区町村内で従業している者の割合</li> <li>■ 創業比率</li> <li>■ 納税者あたり課税対象所得</li> </ul>	<b>事業創造</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ クリエイティブ産業事業所の構成比</li> <li>■ 新規設立法人の割合</li> <li>■ 従業者数あたりワーキングスペースの数</li> <li>■ 大学発ベンチャー企業数</li> </ul>
<b>多様性と寛容性</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 議会における女性議員の割合</li> <li>■ 自治体の管理職職員における女性の割合</li> <li>■ 自治体職員における障害者の割合</li> <li>■ 人口あたり外国人人口</li> <li>■ 多様性政策指数</li> </ul>	<b>健康状態</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 健康寿命 (平均自立期間) (男性)</li> <li>■ 健康寿命 (平均自立期間) (女性)</li> </ul>	<b>文化・芸術</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 芸術家・著述家等の割合</li> <li>■ 国宝・重要文化財 (建造物) の数</li> <li>■ 日本遺産の数</li> </ul>	
	<b>教育機会の豊かさ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大卒・院卒者の割合</li> <li>■ 可住地面積あたり大学・短期大学の数</li> <li>■ 可住地面積あたり国立・私立中高一貫校数</li> <li>■ 人口あたり生涯学習講座数</li> <li>■ 人口あたり生涯学習講座受講者数</li> <li>■ 人口あたり青少年教育施設利用者数</li> <li>■ 人口あたり女性教育施設利用者数</li> </ul>		

## 市区町村版 暮らしやすさの客観指標で「指数」を構成するKPI内訳

- 「〇〇指数」は、構成する項目（施策・施設など）が「有り」の場合に1点、「無し」は0点とし、全項目の合計を算出。
- 自治体DX指数は、構成するカテゴリ（「自治体DXの推進体制等」、「行政サービスの向上・高度化」等）ごとの点数の平均値の合計。

### ■ 地域財政指数

- ・ 財政力指数
- ・ 経常収支比率
- ・ 実質公債費比率
- ・ 将来負担比率

### ■ 自治体DX指数

- ・ 自治体DXの推進体制等
  - ・ CIOの任命等
  - ・ CIOの補佐官任命等
  - ・ CISOの任命等
  - ・ DXを推進するための全庁的・横断的な推進体制構築
  - ・ DX推進専任部署の設置
  - ・ 外部デジタル人材の任用
  - ・ 外部デジタル人材の活用
  - ・ DX・情報化を推進するための職員の育成の取組
- ・ 自治体フロントヤード改革取組状況等
  - ・ 自宅での手続き（手続き案内システム・AIチャットボット・チャット相談の導入等）
  - ・ 近場での手続き（キオスク端末・リモート窓口・移動窓口の設置等）
  - ・ 庁舎での手続き（キオスク端末・総合案内・ワンストップ窓口・書かない窓口の導入等）
- ・ デジタルバйд対策
  - ・ デジタルバйд対策
  - ・ 講習会の開催

- ・ 行政サービスの向上・高度化
  - ・ 行政手続のオンライン化の推進状況
  - ・ ホームページ等の状況
  - ・ 電子決裁の状況
  - ・ 災害時の被災者情報管理業務システムの整備状況
  - ・ 統合型地理情報システム（GIS）の整備
- ・ オンライン利用状況調査
  - ・ 処理件数が多く、オンライン化の促進による住民等の利便性向上や業務の効率化効果が高いと考えられる手続のオンライン化
  - ・ 住民のライフイベントに際し、多数存在する手続をワンストップで行うために必要と考えられる手続のオンライン化

### ■ デジタル政策指数

- ・ 国土交通省Plateauの対象都市
- ・ 地方版IoT推進ラボの有無
- ・ 自治体によるオープンデータの有無
- ・ ローカル5G開発実証事業の採択の有無
- ・ スマートシティ合同審査の結果
- ・ マイナンバーカード普及率
- ・ 国勢調査ネット回答率
- ・ 共創モデル実証プロジェクト
- ・ Digi田甲子園採択自治体
- ・ デジタル田園都市国家構想交付金採択自治体

### ■ デジタル生活指数

- ・ Code forの団体の有無
- ・ ファブラボの有無
- ・ CoderDojoの有無
- ・ 大学のICT関連学部の有無
- ・ 高等専門学校の有無
- ・ 10万人あたり通信キャリア店舗数

### ■ ウォークابل指数

- ・ ウォークابل推進都市
- ・ （ウォークابل推進都市のうち）滞在快適性等向上区域を設定している自治体
- ・ 「地方版自転車活用推進計画」の有無

### ■ 都市景観指数

- ・ 「都市景観大賞」受賞の市区町村
- ・ 景観条例の有無
- ・ 景観重要建造物の有無
- ・ 景観協定の有無

### ■ 自然景観指数

- ・ 国立・国定公園の有無
- ・ 美しい日本のむら景観百選等
- ・ 景観重要樹木の有無
- ・ 重要文化的景観

41

## 市区町村版 暮らしやすさの客観指標で「指数」を構成するKPI内訳

- 「〇〇指数」は、構成する項目（施策・施設など）が「有り」の場合に1点、「無し」は0点とし、全項目の合計を算出。
- 自治体DX指数は、構成するカテゴリ（「自治体DXの推進体制等」、「行政サービスの向上・高度化」等）ごとの点数の平均値の合計。

### ■ 環境政策指数

- ・ SDGs未来都市
- ・ 2050年ゼロカーボンシティ
- ・ 気候変動イニシアティブへの参加
- ・ 「地域循環共生圏実践地域」活動団体
- ・ 脱炭素先行地域
- ・ ゼロカーボンパーク

### ■ 多様性政策指数

- ・ パートナシップ宣誓制度の有無
- ・ 性の多様性に関する条例の有無
- ・ 障害差別解消に関する条例の有無
- ・ 子どもに関する条例の有無
- ・ バリアフリー基本構想の有無
- ・ 男女共同参画条例・ジェンダー平等条例

### ■ 関係人口創出活動指数

- ・ 地域への移住・関係人口創出プロジェクトの数
- ・ 地域への移住・関係人口創出プロジェクトの発信可能者数
- ・ 地域への移住・関係人口創出プロジェクトの関心度

42